大正五年八月三十日　第三千二百二十三號　(一)

京城日報

廿九日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ケ月金五十錢
發行所 京城太平通二丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

○羅國愈宣戰す

巴里來電に曰く、公式に確められたる所に依れば羅馬尼は二十七日夜墺匈國に對し宣戰を布告したり(倫敦電報)

(別報)巴里來電に依れば、伯林ウオルフ通信社は羅馬尼は墺匈國に對し宣戰を布告すと報ず(紐育電報)

○羅軍既に鋒を交ふ

伯林來電に依ればトランシルバニア國境に於て獨墺軍と羅馬尼國軍の戰鬪開始せられたり勃牙利亞軍の前進はマケドニア方面に向つて繼續せらる(紐育電報)

○獨の對羅宣戰

二十八日伯林來電に曰く、獨逸は羅馬尼に對し宣戰を布告せり(紐育電報)

○六億圓の募債二日に成る

募集額六千萬磅の英國公債は四十八時間內に募集額を超過し月曜日に締切る可きの處土曜日に締切を終りたり(紐育電報)

○支那勞働者佛國到著

二十八日支那人勞働者一千名里昂に到著せり是れ佛國軍需品工場に就業せんとする最初の支那人團體なり(巴里電報)

○山東革命軍暴動

山東革命黨の兵員約一千名は軍隊解散費の分配に對し不平を起し二十七日夜周村に於て暴動を起し革命黨幹部を殺戮せんとし掠奪至らざる所無く事態重大なり(北京特電)

○龍軍韶州を奪還す

香港來電に依れば龍濟光軍は韶州を奪還し唐知事を追放せしが賊徒は其附近を掠奪し居り住民は難を避けんとて遁走中なり鐵道電信は復舊し薩提督は軍艦永昌に坐乘して二十五日廣東に到著し商業上の信用恢復しつゝあり(上海電報)

○大田氏敍勳取消

前衆議院議員大田直治氏は大正三四年事件の功に依り去る十九日勳四等瑞寶章を授與せられたるが二十九日官報を以て取消の旨公表せられたり(東京特電)

○白井中將 新任旅順

要塞司令官白井中將は二十九日夜發の櫻丸にて內地へ向ふ筈(釜山特電)

○古海總長

井口中將は新羅丸にて內地へ出發し見送の爲め來釜せし古海總務總長は二十九日朝歸任せり(釜山特電)

○西川工學博士

工學博士西川虎之助氏は二十九日朝櫻丸にて來釜同十時半發列車にて京城へ向へり(釜山特電)

○今後の蒙軍如何

郭家店に於て對陣中なる支蒙兩軍は我軍の勸告に基き休戰を承認し奉天軍事顧問菊池中佐は支蒙兩軍の間に立ち其臨時的に休戰條約を結ばしめんと奔走する所あり蒙軍は支軍に抵抗せず廿四日より十日間內に郭家店の陣地より退却すること並に退却沿道の掠奪等をなさゞることを約し支軍は蒙軍を追擊せざることを條件とし茲に兩軍は交戰狀態を撤廢すること、なりたるが我軍にては兩軍に於て萬一右條件を守らず再び開戰するが如きことあらんか直ちに我行政權內の安否に拘るべきを以て蒙軍が某地點迄退却する迄監視的に護衛すべく、兩軍並に滿洲に於る治安維持上參大の好意たるは言を俟たずされど蒙軍が撤退後如何なる方針を取るべきやは全く疑問にして遠く崇古の地に歸還して捲土重來の謀を廻らすや或は官軍の追擊を避くべき地點に於て滿蒙宗社黨の蹶起を待つや兎に角蒙軍の首領巴布札布は或は日本に亡命すと傳ふる者ありと雖も巴布札布は決して部下と離れて他に潜在すべき人物に非ず蒙軍と共に退却したるは明かなれば今後の行動は更に一段の興味あるべく加ふるに或る時機に於て滿洲宗社黨の再起を見るならば再び蒙軍が滿洲の天地に活躍するに至るべしと某消息通は觀測しつゝあり(大連)

○戰局の形勢一變せん

羅馬尼の對墺宣戰の影響

聯合軍は東西各戰場に於て最近引續き有利の形勢を持續せるも其進展意の如くに速かなる能はずされば希臘を壓迫して勃牙利軍に當らしめ倚サロニカに增援軍を上陸せしむると共に極力羅馬尼の蹶起を促しつゝあり廿六日我陸軍省著の報告に羅馬尼は

▲聯合軍より兵器及び軍需品の供給を受くるの議確定し加ふるに兩者間の策戰全く合致したるを以て兩三日中に愈々大戰參加を宣言するに至る可く露軍と合同してトランシルバニヤに侵入し墺匈軍に向ふ可しとのことなりしが果然別項電報は二十七日を以て愈々墺匈國に對し宣戰を布告したりと傳ふ羅馬尼の兵力は五十萬と稱するも之は眞に第一線の戰鬪に堪ゆ可き精兵のみを計算したるものにて倚ほ補充兵其他を合すれば三十萬乃至五十萬を得可く兵器彈藥等は從來專ら獨逸クルップ會社製をのみ使用し居たることとて聯合軍側の彈丸等は

▲何等の用をなさざる 其銃砲に適合す可きものを米國に注文し已に製造を終りて露國に著したれば直に之を交付するに至りし者にて目下サロニカの聯合軍は英軍二十萬佛軍十萬其他を合し五十萬內外を算せるが之に五十萬乃至八十萬の羅馬尼軍を加ふる時は聯合軍の

▲兵力は頓に優勢なり 近日該方面に於て大決戰行はるる可く戰局の形勢は茲に一變する機會に到達したり即ち獨軍は巴爾幹を聯合軍の爲めに奪はれ物資供給の途を杜絕さるるのみならず全然聯合軍の

▲重圍中に陷りて 唯その最後の日を待つの外なかる可く羅馬尼の蹶起は戰局最後の勝利が愈々聯合軍側に在りとの見込付きたるを確證するものにして今後の形勢は眞に著目す可きものなる可し

◎大連の大公園

武田工學博士は約一箇月間滿蒙を旅行し此程歸洛せり博士今回の旅行は主として大連に於ける大公園建築設計の爲めなりしが博士の談によれば近時大連の市街は實利時代を過ぎて今や趣味的美術的時代に入りつゝあり關東都督府にては大連附近の丘陵を一大公園にする計畫を立て博士に設計を依囑したるより博士は同地に赴き設計をなし愈々實行に著手すと公園の廣さは十八萬坪にて經費四十五萬圓を投じ二年繼續にて事業を完成する豫定なるが園內何等の建築物なく遊步道に沿ひ此處彼處に小亭ベンチを設け樹木泉石の風致に富むと(大阪支局)

◎鮮露小包郵便

亞露行きは一個六十錢高

浦鹽斯德にては最近埠頭の堆貨數十萬噸の夥しきに上り輸送力並に倉庫收容力等の關係上軍需品以外一般物資の搬陸に制限を加ふる事となりし結果當分の間吾が遞信大臣は露國及び羅馬尼行の浦鹽經由小包郵便引受けを停止したる結果朝鮮にても此の省令に準據し露國及び羅馬尼仕向け小包は全部長春經由として差立つゝあるが其の結果歐露方面は時日並に料金に於て差なきも亞細亞露西亞乃ち沿海州黑龍江サガレン行き小包みは一個二百六十六匁以上一貫三百三十三匁以下のもの浦鹽經由なれば料金一圓なれども長春經由は六十錢上りの一圓六十錢にて送達時日亦多少遲延するの止むを得ざるべし尙ほ內地よりの露國及び羅馬尼行き小包は全部大連より長春を經由送達さるゝ事となり居れるが何れも料金等の關係上激減せる模樣なりと

◎稅關官制改正

勅令第二百十號を以て朝鮮總督府稅關官制中第一條第一項第六號を左の如く改正されたり

六、輸入又は移入の貨物の消費稅及び輸出又は移出の貨物の交付金に關する事項

追て煙草の出入稅は從來府廳に於て徵收し居たるも今回は酒稅と共に之れを稅關に於て取り扱はむとするものにして本令は九月一日より實施の事となれり

◎府令訓令發布

稅關官制の改正に伴ひ國稅徵收令施行規則中改正の件煙草稅令施行規則中改正の件並に酒稅令施行規則中改正の件は第七十一號乃至七十三號を以て又た稅關事務分掌規程中改正の件は訓令第三十六號に依り何れも三十日の官報に依りて公布せられ九月一日より實施の事となれり

◎定例長官會議

二十九日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長小松翰長、山形大佐等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協定打合せの上正午散會したり

◎國分長官視察

國分司法部長官一行は二十七日午前十時列車にて新義州著旅館みどりやに投宿せるが一行は日曜日一日休養し二十八日監獄及び警察署の事務を視察し二十九日裁判所及び檢事局の事務を視察する筈なり

◎關屋局長轉地

關屋學務局長は二十八日有馬を引上げ兵庫縣武庫郡住吉村字九郎左衛門新田三五三ノ一に轉居せり、腦充血は既に全快したるも宿年の神經衰弱は何ほ健康を恢復するに至らざるより當分此地に滯在靜養の筈なり

◎井口中將通過

井口中將は廿九日午前五時四十分著列車にて著釜直に連絡船新羅丸にて內地に向へるが釜山在住軍人在鄉軍人官民多數の迎送者ありたり(釜山特電)

◎白井中將出發

今回旅順要塞司令官に榮轉したる白井前四十旅團長は二十八日午後四時十分の南急行にて大邱驛出發停車場には安原八十聯隊長、鈴木慶北道長官、黑川檢事長、竹崎大邱府尹在鄉軍人其他官民有志二百餘名なりと(大邱)

◎古海總長歸京

東拓參議官井口中將を釜山まで見送りをなせる古海總務總長は廿九日午後九時南大門驛著列車にて歸京の筈

◎金久保少將 著期

今回大邱第四十旅團長に補せられたる金久保前十八旅團長は來る九月七日午後一時十八分大邱著の北急行にて著任の豫定なりと

◎緒方少將出發

大田第七十九聯隊長より廣島第九旅團長に榮轉せし同少將は二十九日十二時半發列車にて出發赴任せしが驛には官民有志見送り盛なりき(大田)

◎和田課長歸京

和田土地調查局總務課長は夫人令息令孃令姪同伴二十八日午後九時南大門著列車にて別府溫泉より歸京せり

◎農業講習終了

過般水原より京城中學校內に移轉講習中なる農業教員講習會は三十日を以て終了同日午前十一時より同校講堂に於て終業式を擧行の筈なり總督府よりは宇佐美長官列席一場の訓示ある可し

◎組合議員補缺選擧

京城學校組合議員の定數十八名中吉本潤亮氏の死亡により現在は十七名となり居れるものなるが法規に據れば必要と認むる場合は補缺選擧を行ふことを得とあれども今日迄は別に其必要を感ぜず其儘となり居たるものなれども二十八日の組合會議に於ては規約の改正を議せんとするに當り規程の定數に達せず遂に延期となりたる經驗に鑑み議員牧山耕藏氏は府尹に對して補缺選擧を行はんことを建言したる所府尹及び會議員に於ても之を諒としたれば近く詮衡の上補缺選擧を行ふに至るべきかと云ふ

◎組合議員委員會

二十八日の京城學校組合會議に於て三名の委員附託となりたる戶別割賦課減免に關する委員會は二十九日午前十時より京城府廳樓上に於て開會せり

▲普通學校長一行 豫て入京中なりし各道普通學校長一行五十二名は二十九日午前九時十分南大門驛發列車にて開城に向へり

義州

▲川上道長官歸任 新義州教員講習會修了證書授與式に臨場したる川上長官は[illegible]旅館に投宿中の處二十八日歸任せり▲北道普通小學校長會 本月十六日以來平安北道公立普通學校長及び小學校長會及び講習會の爲め新義州に滯在中の校長五十二名は廿七日及び二十八日の兩日全部歸任の途に就けり▲平安北道教員講習會 平安北道公立普通學校長及び公立小學校長會は本月十六日より三日間新義州小學校內に開催し會議終了と同時に同校に於て手工科の講習會を開始したるが本二十六日終了二十七日午後一時より修了證書授與式を擧行せり川上平北道長官は式に臨みて一場の訓示を爲し閉式後茶話會を開催したるが講習員數は小學校長十六名普通學校長三十二名講師は黃海道黃州の西掘善太郎氏なりと因に講習員は新義州みどりや旅館及び日勝旅館に分宿せり

平壤

▲警務部長歸任 豫て管內巡視中なりし瀧警務部長は八月三十日歸任せり▲金融組合設立認可 平安南道成川地方金融組合は八月二十三日附けを以て設立認可の指令ありたるが昨今開業準備中にて追て資金の下附あり次第開業すべしと▲將校官舍工程 既報の如く平壤七十七聯隊將校官舍新築工事は愈々其工程進捗し建築物は全部建終り通路及び水道工事殆んど完成の域に達したるが室內外用電燈工事も平電と燈料等に付き協定を了したれば之亦不日工事に著手すべく隨つて豫定日數なる九月十五日頃迄には全部の工程を終るべし▲平南の秋蠶 平安南道に於ける秋蠶に就ては既報の如くなるも其後二十七日迄道蠶業係の調查に依れば本年の秋蠶飼育戶數四二一八戶掃立枚數四四七八枚收繭豫想八五八石三斗なりと

仁川

▲第三大隊來仁 第三十七聯隊第三大隊は豫報の通り二十九日午後行軍の上來仁し一泊せり▲小麥粉不振 七月中の小麥粉輸移入額は一萬二百九十五圓にして前月より五千圓を減じ前年同月より五千餘圓を增加せり是れ本品は夏期不需要期にありたると手持品の關係より仕入手控へせられたるに由り相場は內地市場が不勢を唱へ居れるより當地方商行も捗々しからざりし新物出廻の關係にて依然氣配軟弱なり▲京仁間自動車許可 過般來奧田貞次郎氏より北筋に認可申請中なりし京仁間自動車連絡運輸の件は此程認可の指令ありたり

天安

▲衛生組合會議 天安憲兵分隊にては衛生組合長及び衛生伍長其他衛生係を二十七日午後一時より分隊に招集し目下內地に惡疫流行盛んなるを以て內地より天安驛下車客には小野公醫をして一々檢疫を爲し以て大に豫防し居るが萬一發生したる場合の處置及び一般の豫防方法其他經費等を會議し五時散會せり▲衛生講話 二十九日午後七時より天安佛教會堂に於て高等小學校に衛生講話を爲す筈なり▲音樂會 來る三十一日の天長節を期し音樂大會を催さんとて目下準備中なるが地方の音樂家は夫れ〳〵十八番の下調最中なれば定めて盛會なるべし

大田

▲第三回捕蠅 郡內に於ける松毛蟲驅除面積は國有三百九十町步民有七千四百九十町步にて內國有地百八十六町步民有六千九百六十六町步に對する第三回捕蠅驅除を行ひ兩二百三十八石を採れり是れが從業員賦役六千七百四十七人傭人百三十七人を用したりと▲稗拔結果 從來製石の場合稗混入の爲め時に檢查の際不合格米を出す事間々ありたるを以て郡當局に於ても改良の目的を以て年々稗拔獎勵をなし來りしが本年は特に拔取勵行を爲す事となり警察憲兵隊より援助を受け督勵を爲し今倚ほ拔取り中なるが最近の結果は拔取面積千四町步從業員七千五百四十九人にて稗三萬一千六百六十三貫を拔取りたりと▲螟蟲驅除 本郡に於ける螟蟲は天候不定の爲め蔓延し易き事ありては一般に及ぼす影響甚大なるを以て一般に調查を嚴密に爲すと同時に驅除獎勵をなしたる結果一時の風說に過ぎずして二十町步に對し六百本を取りたるのみなりしと倚ほ引續き調查中なり▲紫雲英配布 綠肥獎勵の目的を以て昨年郡內二面を除く外十面に對し紫雲英種子の配布をなしたるに土地の具合なりしか又根瘤菌の無かりし爲めか地方に於ては頗る不結果を見たりしを以て本年は根瘤菌の附著せる土壤に種子を混じ播種せしむる筈なりと昨年度に於ける紫雲英發芽數は平均反當り六百貫にて本年は種子四斗を配布の筈▲名士來往 來田中の黑崎參事官は廿七日十一時半發にて大邱へ小松道事務官は廿八日午後零時廿八分發にて鳥致院へ[illegible]地方裁判所大田支廳判事は廿七日歸任せり▲郵便所に就て 儒城郵便所移轉問題は既報せし旨報せしも右は儒城郵便所の位置中央なりとして認可ありしも實際は驛岸儒城間直線の中央にして驛よりは道路を迂廻する時は寧ろ位置よりも何等遠き事は實際を知るものゝ一般に稱ふる所にして設置後の今日如何ともし難きを以て問題を保留し後日時機を見て議題する事に決し圓滿なる解決を爲たるものにあらず

群山

▲水道現況 群山水道の現況を聞くに過般豪雨の際は放水數回に及びたるの狀況にて貯水量は現在七十四尺九寸即ち滿水面より下ること僅かに一寸極めて潤澤なるものにして現今一日平均給水量は一萬三千立方尺即ち約二千石なり此の引用者は專用栓百四十六戶共用栓九十戶公設共用四百四十八戶船舶給水栓三個所等にして引用者は月々增加し料金の徵收等も頗る圓滿に行はれ居れりと▲排水工事 臨益水利組合に於ては本年の豪雨大水害に鑑み工費六萬圓を投じ既設灌漑設備と相俟て排水設備を完全ならしむべく近く起工の豫定來春迄には完成せしむべしと

大邱

▲慶北保護牛規程發布 總督府令第五十五號保護牛規則發布の結果慶北道に於ても規程を制定せり▲兵營道路收用協議 二十六日大邱旅團期成同盟會は慶北道廳樓上に於て兵營道路敷地買收協議をなしたるが十坪以內は全然寄附となし十坪以上は多少の代價を支拂ふ事となし道地七十八件中已に五十六件の承諾を得しも倚ほ殘部の承諾を得る必要ありて二十九日更に道廳に於て協議交涉をなせり▲大邱學校組合決算 大正四年度に於ける大邱學校組合歲入出決算は歲入經常二萬二千八百四十三圓八十四錢臨時一萬四千九百四十九圓四十錢合計三萬七千七百九十三圓二十四錢歲出經常一萬七千四百三十四圓四十四錢同臨時一萬一千百八十三圓九十一錢二萬八千六百十八圓三十五錢差引殘金九千百七十四圓八十九錢五厘は翌年度へ繰越せり

人事消息

▲永井柳太郎氏(早稻田教授) 廿九日元山より入京京城ホテルへ

▲石川貞治氏(鑛山業) 二十九日朝入京朝鮮ホテルへ

▲シュリク氏(波蘭人) 同

▲上田恭輔氏(滿鐵秘書役長) 入京中の處二十九日朝出發歸北

▲長崎常氏(前代議士) 廿五日心臟麻痺にて東京本鄕弓町の自邸に逝く

▲小川琢治氏(京大教授) 廿八日釜山上陸北行

▲中江紐一郎氏(明治製糖社長) 同日釜山著鐵道ホテルに投宿

▲出羽の海(相撲協會取締) 二十八日午前釜山著大池旅館に投宿同日午後高麗丸にて內地へ

ワンワンの學校　參觀記（一）

▽自分の小供のやうに可愛いゝ　◆ホントに深切な四人の娘さん達

▽風邪を引かぬかお腹を痛ぬかと　◆心配でたまらない校長さん

龍山行の電車を岡崎町の停留場で降りて左手の小松林の草道を爪先上りに東南に進み行むこと數分間すれば

▼倏忽けたゝましい　犬の吼聲を聞くことが出來る、こゝぞ即ち朝鮮はおろか内地にも餘り類の少ない『お犬の學校』である、經營者は松村留次郎さんと云つて差詰『お犬の學校の校長さん』と云つた樣な人だ、松村さんは十數年前迄大阪では屈指りの雜貨貿易業者として押しも押されもせぬ商賣人であつたが天性の温厚な性質のため至富豁な生活が生んだ

▼狩獵こ　犬の道樂から遂に失敗して四五年前朝鮮に來た人で、好きこそ物の上手なれの比喩に洩れず獵犬の訓練にかけては及ぶ者なしとの評判である、其上揃ひも揃つて松村さんを始め夫人も四人の娘さんも大の犬好きである、是位の評判のあるワン〳〵の學校を實地に視ようと思つて教へられた道を辿つて見ると果せるかな松林の下手の方で

▼何十疋　とも知れぬ犬の吼聲が聞ゆる刺を通じて參觀を申込むと十數疋の犬が横な奴が飛込んで來たと云ふやうな顔をしてワン〳〵を連發するやがて四十そこ〳〵の年配なそして追に一昔の紳商の面影を留めたる温厚そうな松村さんが出て來て命令一下すると吼聲はピタと止んでさて記者に語るやう……元來私が大の犬好きなのと

▼不思議　にも亦家内が皆な犬を可愛がるので自然犬の訓練に就ても多少の自信を抱くやうになり玆に三年前迄は僅かに知合の方々の獵犬を預つて獵犬として一通りの藝を教へて居つたものですが昨年頃から一般の御希望をも容れて御覽の通り澤山な

▼獵犬を　お預かりすることゝなつた次第です現在預つて居る犬は弓削學務課長のポインター種エス（三歳）黒部稅關出張所長の獨逸ポインター種ジョ（二歳）土地調査の黒田氏のセッター種ツメ（四箇月）キング（四箇月）同局の本田氏のポインター種ジョミ（八箇月）三越の田中

▼支店長　ポインター種のミル（六箇月）を始め其他を合せて十八疋程を收容して居ますと話して居る間にもエス公ジョミ君などが盛んに奇聲を揚げるすると雪姫の樣に優しさうな二十歳前後の姉娘さんが三人の可愛らしい妹さんを連れてジョンも來いエスも來いと

▼赤ン坊　の樣に可愛がる松村さんは喫みさしの朝日の灰を落しながら杜切れた話を續で語る、このやうにしてお預りして居ると云ふことは學校の先生が生徒に對する情愛と云ふよりも丁度自分の子供のやうに可愛さが增して來るものです朝起ると直ちに

▼訓錬服　を着て犬小屋から出したり子犬の方は別に設けた温突の中から出して朝餐を給せる其から上の松林の中で獵の訓錬を始める毛の手入をする所などは人間の子供を教練するのと少しも異ふ所はないです風を引かせはせぬか腹を害ねはせぬかと却々の心配です若し犬の嫌な人から見れば狂氣の沙汰とでも思はれるやうなことなのです

今上げますから待つてらつしやい＝朝めしどき

支那兵日本料亭を騒がす　斐旅團長、營長をして陳謝せしむ

二十六日午後五時頃長春城内東四道街の日本料理店一二三方へ吉林より新たに來れる支那兵一名登樓して亂行を演じ手に負へざるより同樓にては直ちに城内派出所に訴へ出で派出所より瀨村巡査出張して之れを取鎭めんとせしに反つて抵抗し亂暴の上逃走したれば之を追跡して其行衛を突き留めたる上一旦歸所し此旨警察署へ電話にて通じたるを以て署よりは山元警部竹波警部等城内に赴き斐旅團長に面會し艦談の結果該兵士は嚴制に處する事及び今後斯かる失態を再び演ぜしめざる事所屬長たる營長をして親しく陳謝せしむる事等を取極め山内領事の許可を得て圓滿解決を告げたり

ク式練習飛行　尾崎氏の成功

二十七日朝大阪練兵場に於て尾崎氏はク式練習飛行をなし大成功を收めたり當日の風速は地上五米突高空十四五米突を示し東北の微風あり

▲絶好の飛行日和　なり午前六時五十五分氏は莞爾として機上の人となり滑走僅かに五十米突にして離陸し一周目には四百米突の高度に昇騰し益々上舵を引きつゝ二周目は八百米突の高度を保ちて一層大きく市の東部より今福鶴橋の上空を圓形を畫きて悠々飛翔し大喝采を博し三周目に場の中央より思ひ切つたる急角度の旋回下降をなし七時十分觀衆の度胸を拔きつゝ着陸せり同機据付のプロペラはルンプラー使用のものにて原品より三寸長く車輪との撒衡上地上僅かに六寸の餘地を示す許りなれば

▲其尖端を地上に　打ち付け兩端を少しく破損せり尾崎氏は語つて曰く『愈々機の調子も解つて來たれば最早や大丈夫なるも補助翼が莫迦に利く割合に方面舵が取り難き嫌ありルンプラープロペラの豫備品は大阪へ持來りたれば早速取換へて今一二回飛行せん豫定なるも大體飛行に就ての自信もあり又來月早々渡支せざる可からざる事情もあれば今回のクツクリ練習するやも知れず』と當日菊池代議士並に帝國大學航空學調査委員栖原工學士等來觀せり（大阪支局）

陸海軍大尉に御陞進

▽天長節祝日を以て

陸軍歩兵中尉海軍中尉大勳位皇太子裕仁親王殿下には十一月三日立儲式以前即ち十月三十一日天長節祝日を以て陸海軍進級令に依り陸海軍大尉に御陞進遊ばさるゝ由漏れ承る（東京特電）

落雷　死傷七名　豪雨中の椿事

仁川署管内富川郡富内面九柴里所在の眞瓜畑の番小屋に二十八日午後一時三十分落雷あり折柄の豪雨を避くべく該小屋内に集合し居たる同郡同面道邱里二統九戸李興三長女千勵汝妻村氏（四九）の三名は感電して卽死し興三孫阿只（八）は火傷し前記根汝三男令俊（一〇）は感電して人事不省となり同郡桂南面中里申氏（五〇）は腰に長さ一寸五分位の火傷を負ひ附近の坪中氏（五五）は右頰に微傷を負ひ附近に繋ぎありたる牡牛六歳一頭價格六十圓も震死せり急報に接したる最寄駐在所よりは直ちに警官出張し負傷者に夫々應急手當を加へたる由

變裝して犯人を逮捕す

全北淳昌郡茂朴面雙北里姜正淑（三〇）は去る十二日井邑市場にて麻布を賣却して歸宅の途中同日午後六時頃同面栗峙の山道にて何者にか頸部に數箇所の重傷及び全身を滅多斬りにされて慘死し所持金を强奪され居るを所轄淳昌憲兵分遣所にて檢證し所員全部變裝して犯人嚴探中の所犯人は同郡石顯面上新里崔奉辰（三七）なることを突き止め本月十八日遂に同人を逮捕し目下嚴重取調中なるが同人は草刈鎌を以て慘殺したる上正淑の所持金六圓を强奪したるものなりと

火焰を冒して二兒を救ふ　逆上せる母親＝數箇所の火傷を負ふ

仁川牛角里十四統一戶沈士雲夫婦は二十八日夜六歳と二歳の小兒を温突に寢かせ置きて近所に外出中温突に吊し置きたる洋燈の火氣が壁紙に燃え移りそれより天井に延燒し温突内は火焰に包まれ熟睡中の二兒は將に燒死せんとする處へ母安氏が他出先より歸來し此有樣を目撃し驚きの餘り逆上し火焰を冒して温突内に突入し二兒共無事救出せしが安氏は其爲め數箇所の火傷を負へりと

全南豪雨被害　家屋倒壞して一名壓死

全南光陽郡地方にては二十八日豪雨あり爲めに家屋の倒壞したるもの七戶、半壞したるもの三戶ありて壓死者一名あり其他被害多き見込にて取調中なりと

熟睡中を撲殺

黄海道瓮津郡馬山面上九里張順永妻李永春（三）は同里李龍逐（三十）と昨年五月頃より姦通し張順永を殺して夫婦にならんと本年七月六日午後九時頃夫は畓の水番に行きたる後に姦夫を引き入れ相談の結果李龍逐は棍棒を携へ張が水番を終へて上梁峴洞瑞興面に午後十時頃赴き畓畦畔に熟睡し居る張を傍らにありたる鍬を取つ

黑谷法主葬儀

本葬儀は九月七日と決定す

淨土宗鎭西派四箇本山の一なる洛中黒谷金戒光明寺法主秋浦定玄大僧正の密葬は二十五日に行ひしが本葬儀は九月七日と決定し當日は本堂を式場とし師導は淨土宗總本山智恩院門跡山下現有大僧正にて喪主は遺弟中の高弟秋浦春玄僧都なるべく一兩日中に葬儀係を設け其れ〳〵準備に着手する由（大阪）

大阪力士の意氣込み　京阪合併相撲を控へて

東京大阪合併大相撲は十月八日より十日間大阪に於て興行の筈なるが西方大關松の音初め加古川朝日松大門等は本月中旬より尾張各地巡業中にて何れも合併相撲決定と共に意氣込み盛んに例年休養時期なる昨今稽古を勵み殊に新大關に昇進すべき朝日松は一層元氣にて稽古を勵みをれり（大阪支局）

收賄事件控訴

忠南公州郡外西面龍堂里金鎭鑑（二四）同面佳鶴里孫錫謨（三二）兩名は巡査補として忠南唐津警察署漢津巡査駐在所に勤務中三月末唐津郡新平面道城里朴容實の母の死體を自宅の裏畑に埋葬し墓地規則違反者として同駐在所に引致する途中兩巡査補に賄賂して事實の取調を免れんと金百圓を提供する契約をなし内七十圓を交付したる收賄等の事件は此程公州地方法院にて金鎭鑑は懲役一年三箇月、錫謨同八箇月、容實は笞九十の判決となりたるを何れも京城覆審法院に控訴せり

船中で赤痢

二十七日午後七時頃釜山牧島派出所裏繋留の和船中に下痢患者あるより時節柄虎疫に非ずやと警官が該船に行き取調の結果慶尚南道蔚山郡井口島生れ川原嘉吉（四九）と云ふ者にて此程より下痢症を起し既に三四十回も下痢したる旨答へ船中至る處に放糞し居たるにぞ隣船を隔して診ると赤痢と判明し同船には嚴密なる消毒を行ひ嘉吉を速刻避病院へ送りたりと

溺死

平南平原郡西海面中興里三統二戸崔國模（六）は八月十五日同里二橋浦に於て水浴中過つて溺死す

豹に咬殺さる

近來慶北各郡に亙り豹の出沒頻々にして當局も極力是が撲滅に苦心しつゝあるが去る廿一日義城郡龜川面龍蛇洞に於て崔有星長女崔月粉（一三）及び軍威郡軍威面政洞權炳智方下女（一三）孰れも豹の爲め咬み殺されたり

一千圓を詐取せんとす

京城鍾路五丁目居住裁縫業李鍾秀（二八）は七月二十日鎭南浦儀兩機里韓昌福なる者が大金を携帶して入京し

女鳩劇　壽座にて

新派和合倶樂部一行　卅日午後五時から

本紙朝刊に連載日日非常の興味を以て迎へられてゐる東都斯界の巨星渡邊默禪氏作の小說『女鳩』は今や頗る佳境に入り數萬の

◆愛讀者　を熱狂せしめつゝあるが之れに就いて目下壽座に興行連夜喝采を博しつゝある新派和合倶樂部須藤隆介一行が同劇を是非上場したいといふ所から、旬日に亙り同劇につき研究を重ね

◆下稽古　を爲したる結果十分に演じこなせる自信を有するに至り是非同劇を上演したき旨を申込んで來たので本社に於いても、一座の實力、場面、役割、道具、衣裳等調査の結果その希望を容れ『女鳩劇』を上場せしむる事にした、

◆上場さ　れに就き一座は數日前から稽古にかゝり、二十九日の如き休場して早朝から稽古にかゝり上場の

◆準備は　遺憾なく濟んだ愈々卅日午後五時から開場する事になつたのである、而して入場料の如きも涼み興行として破格の大勉強で特等五十錢、一等三十錢、二等二十錢、三等十錢と定めた尚ほ本紙愛讀者の便宜のために本紙に

◆割引券　を刷込み同券持參者に對しては各等共三割引といふ事にした、その場面は五幕十一場で左の通りである

▼場面　一、横濱十字商會生駒宅　二、山形縣神町驛前奥離座敷密會　三、同家裏堺外屋請敗屋表口庭　四、同家二階座敷裝所　五、元の堺外親子對面　六、九段坂大村公銅像前密會　七、大河野家邸内假裝會場　八、同邸庭園母子密會　九、鐵師源作内臺所　十、魁橋々上　十一、源作内裏手

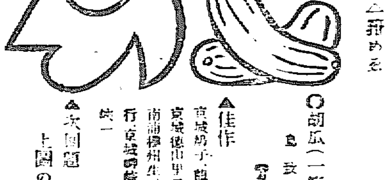
▼役割　△大工息人仙太郎、入鹿大臣（伊井）△樂器屋娘お蝶、豆食屋常吉（花柴）△惟子秀子嬢、源作娘お花（若柳）△贋花沢法原伴改三、作職軍兵（渡邊）△十字商會主生駒吉十郎（川上）△宿屋主人吉右衛門、秀子母綾子（矢野）△小間使お幸（大和）△鐵師伊藤源作（小山）△上女中お友、鐵師女房お蝶（兒玉）△在巡査溝川、醫師卯太郎（小高）△家令鈴木平馬、惡漢源太郎（坂口）△大河野鳩子（水上）△主要官大河野通俊、源七（肥田）△女中頭作江、桶屋（望月）△學生大野靜男（須藤）△酒田令孃絹子（すみれ）

豐竹祖太夫來る

關東の淨瑠璃界に名を知れし六代目豐竹祖太夫は滿鮮地方漫遊の途京城に立寄り目下滯在中なるが同人は豐竹呂太夫の門人にして前名を若狹太夫と呼びしも先年祖太夫を襲名せり得意の語り物は太十、堀川、油屋、宗五郎、合邦、紙治、壺坂等にて語り口に何處となく師匠呂太夫の面影ありとて當地同好者は九月上旬浪花館に於て同人の歡迎淨瑠璃會を催す由

讀者文藝（一等には五十錢の建築券を呈す）

△題めを



◎胡瓜（一等）　島　致　院　霜　N　生

△佳作　京城府…（以下不明瞭）

△次回題　上圖の通り

圖畫題及び表現規定は欄外に在り

女學校にも軍隊にも　大阪の虎疫益々猖獗三百八十名

大阪虎列拉は二十九日正午迄に三百八十名に達し内莫斯綸紡績工場二十名信愛女學校一名の患者を出し神戸、京都へも蔓延せり京都十六師團兵卒一名虎列拉に罹れり（大阪特電）

釜山檢疫所停留者

讀者文藝課題及募集規定　△用紙は端書又は同型

曇り但驟雨

日出　六時一分　日沒　七時一分

酒類買入帳及酒類賣上帳　紙質優美　小口百枚綴　一冊金四十三錢
持越酒類申告用紙　百枚に付金廿五錢（但し送料は別）
來九月一日より實施の酒類販賣業者是非共設備の制定帳簿出來品有之候何卒御注文願上候
印刷と帳簿は
犬養帳簿製造所　京城旭町二丁目　電話二七九番　振替口座一五九六番

鐵工場開業御披露
各位益々御清榮の段奉大賀候扨て近時我が朝鮮工業界の漸次勃興の氣運に伴ひ今回京城岡崎町練兵場前に機械工場を設置し電力應用の許に數千坪の工場にはベルトハンマー並にボルドリベット製作器其外數種の最新式完全なる製作機械を据附け製作及仕上なすが故に其正確なるは申す迄も無之就中左記品目の製作品は弊工場得意の專門とする處に御座候尚工場員督勵の許に優良なる製作品に加へ其價低廉と迅速とを主とし精々勉強仕候間陸續御注文被下度此段御披露申上候　敬白
製作品目
鑛山用鋼及工具
鐵道用モールスパイキ
輕便用モールスパイキ
建築用ボールド
リベットナット
此外種々御注文に應ず
京城府岡崎町練兵場前電車通り
清水鐵工所　主任　清水龍藏
尚　弊工場製作品は工場前店頭に漸次陳列仕り一般の御高覽に供し度往來の御序に御用なき方も何卒御覽置き被下候樣願上候

夏は一寸した病氣も御用心が肝心
賛化堂にはよい藥がある事を常々から御承知下さい
京城本町二丁目角　古城賛化堂　電話一〇二番　振替七三三番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　朝鮮銀行
電話（四三三、一〇六、一三六〇、六一、一二六一）　振替貯金口座京城三三三番
支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

イケダ小兒病内科醫院　池田季雄
京城三越呉服店前（入る旭町四丁目）　電話（醫院一三三四番　自宅八八〇番）

……三十餘名にして……停留者左の如し
▲廿七日午後對馬丸にて上陸 山本……

●連絡船上陸者 ……入港高麗丸一、二等客二十八名 和田一郎、同……
石……、白井……、同……、同富美子、同麗子、同淑子、牧野英一、樋口安次郎、村瀬鉦一、竹田貞男、同千代、井上

●遊就館に於ける大夜會
日本赤十字社救護班送別會

一年有餘巴里凱旋門のホテルアストリヤに陣取つて佛國負傷兵の治療に從事した鹽田博士の一行が

▲巴里を去らん とするに臨み佛國人士は皆其の歸國を惜みましたが、殊に日佛協會は一行の爲めにブーローヌ大公園の遊就館に於て送別の大夜會を開きました、其の席上、佛國學士院會員、日佛協會總裁ベアタン君は、佛國側を代表して熱誠なる一場の卓上演説を試みました

▲鹽田博士一行 醫師四名、看護婦長二名、看護婦二十名、其の他の事務員が凱旋門迪のホテルアストリヤを病院として晝夜兼行、寢食を忘れて十六箇月間一千餘名の我が佛國の忠勇なる負傷軍人を治療したるを感謝し、其の病院の設備の完全なる技術の優秀なる

▲看護の親切に して慈愛深きは歐洲各國の病院も遠く及ばざるところ殊に鹽田博士の手に行はれたる一佛國負傷兵の心臟外壁に留まれる彈丸を抽去れる手術の如きは醫學界の一大レコードにして、心臟は既に一部分裂け、數人の看護婦は約十五時間間斷無く

▲負傷の心壁を 壓したる如き吾人の感嘆措く能はざる所なりといひ、獨逸軍の毒瓦斯に起因する脫疽は完全に治癒せられ、日本看護婦の温良從順にして注意の周到なるは殊に感謝するところと述べ日本赤十字社保護者たる日本帝國皇帝陛下の

▲御健康の爲に シャムパンの杯を擧げてトーストし次で日本側代表者鹽田博士は立て聯合軍の戰勝を祈りてトーストを爲し更に「現今の戰爭に於て佛國民の勇敢なるを賞讃し日本人は劍を提げて佛國戰場に來り同盟軍と共に戰ふ能はざるを遺憾とするも日本國内に於ては上下擧つて有形無形同盟軍の爲に努力し

▲同盟軍の勝利 を信じつゝあり謹んで同盟軍將士の健康を祈ると結んで大喝采を博しました、巴里市は救護班に記念の爲め博士及びモツキ、アタナベ、ホンカワ醫師、看護婦長ホンマ、タユラサの兩孃其の他の各員に美麗なるメダルを贈呈しました（佛國領事の寄贈ヌーベルト、フランス所載）

□露西亞の民謠（2）
—ワ、クロイツ氏輯の中より—
昇曙夢氏山崎斌氏共譯

▲草原

七、
みておくれ、見ておくれ
わたしの奇麗な馬を
わたしのうれしい馬を

八、
お父さん、お父さん
あなたは妾の生みの父よ
ほんとの、ほんとのわたしの父よ

九、
やらないでおくれ、遣らないでおくれ
老人の所へお嫁にやらないでおくれ
変ないやな老人のお嫁に

十、
老人の所へ、老人の所へ
妾は死ぬ程に老人は厭いですから
死んでも妾は老人なすきませんから

圏開城の杜松は日本一です
△これは松嶽の北裏三十餘丈の懸崖で採りました

◇於義洞公立普通學校長妹尾先生の家は觀水洞の温突家にある◇門を這入ると小ぢんまりした板塀には蔦の葉が枝垂れかゝつて十坪に餘る狹き庭には築山がある、秋菊が咲く、金魚が泳ぐ、あたりのもの總て趣きが深い◇先生は毎朝むつくり起きあがると共に尻端折つて庭に降り立ちあちらの花をいぢくつたり、こちらの盆栽を眺めたりするのが、何よりも樂みだ相な◇『此の庭は別に技巧を弄しては居りませんが、唯だ此の一小天地に自然のまゝの野趣を味ひたいと思つて居ります◇春は雪解けの頃から、朝鮮野生のさくら草が咲きます、夏ばまんじゆげさ、夏菊の類から此の頃は梅實の通りの紅い樹の花などで見る一年中何か一つの花は咲いて居ります◇私は去る四十年内地から開城に參りましたが、來てみれば驚くべき優秀な杜松が澤山ありますから私はまた〳〵盆栽道樂を始めました◇開城の杜松は、私の考では日本一だと思ひます 此所にあるものでも凡そ百數十年の古木と思ひますが、それが雨打風損、自然の手入れに揉りくれつて、悉蹊趣きのある古木となつて了ひます◇聞けば朝鮮の眞柏も面白いといふことですが到底杜松の男性的剛健なるに及びません◇此處にある盆栽の樹は、總て私自身が採集したものですが、價は無價でも探集には生命がけで行きました◇其處にある此の如きは、開城松嶽の北裏で三十餘丈の懸崖によぢわづかに一筋の麻繩を生命として探つたものです——』と◇聞けば先生の盆栽道樂もなか〳〵容易ではなかつた

●天長節のお祝
△祝日は十月三十一日

卅一日の天長節は各學校とも暑中休業中で式は擧げませぬ、尤も授業があつても天長節祝日は毎年十月卅一日と定めてありますから異常のお祝ひは晩秋に延びます

●松茸の走り
△風味は釋王寺がよい 咸北の海岸地方から

昨日は最も野菜類の少ない時分です今は朝鮮も内地も夏物はすでに終りて秋のものにはまだ早い時期ですから料理屋にも珍らしいものが用ゐられませぬ、頃日の走りといへば先づ北鮮の松茸ですがこれは主に咸鏡北道淸津附近から會寧方面に出來ます京元線ことに天山附近の釋王寺からは今暫く經たねば參りませんが風味は矢張り釋王寺のがよいやうです相場は上百匁一圓四五十錢、ひらきとなれば八十錢位ゐです

婦人界消息

▲矢鍋廣子（元山稅關長夫人） 廿八日内地より入京

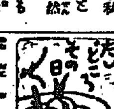
▲林ひろ子（女子大學櫻楓會幹事） 滿鮮旅行の途次廿八日入京本町二丁目天靈館に投宿ひさ先生方滯在中のところ郷里よりの急電に接し同夜南大門發祖國へ向はれました

●公立普通學校長更迭 貞洞公立普通學校長松山明氏は今回長湍公立普通學校長に轉任後任には花十里公立普通學校長奥田成六氏轉任せり

●鎭南浦幼稚園新築 鎭南浦幼稚園は今回同地貿利高等女子校附近に新築するに決し近く工事に着手したり

神社とお寺と教會

○東本願寺（南山） 秋季以來毎水曜日に開催の因明學講義完了につき三十日よりは更に眞宗より見たる各宗といふ意味にて歩船鈔（存覺上人著）の講義開催の筈



回細隱元のうにあへ 隱元豆の筋をとりて細くせんに切り水洗ひして鹽を少しくふりかけ置く、鍋に湯を沸立て前の隱元に水をかけて鹽をあく洗ひ落し湯の中に入れてやわらかに茹で水にすて冷やして、水よりあげてかんざましの酒に鹽を少しく加へたる中につけて置く、小鉢にうにを少しく取りうにの量と同量の玉子黄身を加へてよくまぜ合せその中に隱元を酒よりあげて入れ和へまぜ皿に盛る（青木はつ子）

商況

東京株式特電 受渡株數十六萬六千三百八十株代金千七百二十八萬五千九百四一錢に對する平均百三圓八十八錢九厘

債券現物特電 廿九日出來値段（前日との比較） 東拓社債 京電社債 東洋拓殖 滿鐵社債 …… 六八・五〇 …… 一四五・七〇

東京公債直取引特電 廿九日出來値段（前日との比較） 五分利 四分利 …… 九七・五〇 八二・八〇 八三・七〇 九七・四〇

深川在米特電 廿九日現在高 內地米 外國米 朝鮮米 ……

東京期米特電 廿八日 前場十月限 後場
	前場	後場
十月限	五一・八	一二・二
十一月限	五〇・四六	六三・四二
十二月限	五三・八	〇・九四
一月限	四五・五	一・四

大阪株式特電 廿八日 前場止値 後場
大阪株式 東京株式 大阪米穀 大阪新株 日本郵船 大阪商船 …… [illegible]

大阪期米特電 廿九日前場 寄付 値付 付
	寄付
當限	一四・四九
中限	一四・八〇
先限	一五二・九〇
め止

下關期米特電 廿九日前場
	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
値付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
付	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報
●關東製粉軟勢 米價の昂騰及び小麥等にて取引の旺盛を傳へたる小麥粉市場は…… 四十七錢と漸落し一時は六十錢を高値を唱へたる會社側にても市場の不振…… 米價の不低下…… 八朔以來の關係上利喰ひあるも頗氣佳良の手詰めにより氣甘し 當限受渡高五千五十石値段十四圓四……

●精白 …の手段たる豫期されつゝある豫谷地勞を侮つて入荷は次第安の歩調を革めず正米として現に高値より約八十錢方を引下げ居れるのみならず眼先更に一段の安値を期待さるゝに至りし狀に逐次下押しなる傾向ありなからしめ現下の地場卸値は普通十五圓四五十錢高値より五六十錢方を引落せしが實際に於ては之以下の安値に應ずる例外あるかにて此際更に幾分の下押しを示現すべき模樣なり

●宗谷續いて入荷 宗谷丸は既報初入荷後續いて二回の入荷あり引出來纏り口九圓他は小口十圓五十錢見當にして初荷に比し約五十錢安なりしが今回の分は當貿易商數軒に入荷したる六百個內外と唱へられ居れり此際氣配は一段引地むや測り難きも品薄への折柄產地よりは後品薄を報じ鮮盆前後の需用なきたる者へきや否やの懸念もあり旁此上なしたる事はなかるべき模樣なり

●明太魚不勢 一時氣直り後元山方面の株を捨せし明太魚も其後元山方面の依然強硬を傳ふるに拘らず當府鮮商側の競爭取引によりて自然割安商內行はれ延いて氣配を軟弱に陷らしめつゝあり昨今にては小結一般の安値を辿り二十三圓二三十錢以上は相人なしとの事なり

●砂糖は軟味 砂糖は表面の變動なきが如きも荷動きの不振と大里興糖の對抗上常に同尾糖の運動を鈍ぶらしめ勝にて大口は時に割安の商內に應ずる模樣しあり一般市況は兎角軟味を醸し居る傾きなり

●小賣白米値下げ 精米は原料安に連れ居いてザリザリ安く從つて小賣白米値段も二十九日より五厘方値下げし一等米十六錢二等米十五錢五厘に依賣は一等米五斗入を七圓八十錢と爲せり

●再製鹽閑散 再製鹽は野菜鹽漬の需要一段落を告げ頓に需給の閑散となれり而しながら原鹽相場の手堅き爲め製鹽相場も依然正味百斤入一圓二十錢乃至二十五錢を維持せられつゝあり

下關相場
▲朝鮮白米は居据り 其後五十四叺の廻著に過ぎずして別に安き賣り物あらずと雖も何分買氣進まずして依然賣れ行きの鈍慢なる爲め市況引立たず之れが弗々の出來値は前報同樣にて相場居据り居れり
▲小豆は狂はず 其後中國產僅か二十俵の廻著に過ぎざると產地高不引合か騰に安き賣り物あらずと雖も依然小口弗々の賣れ行きに過ぎずして市況狂はず之れが出來値は前報同樣なり

京城正米
鮮米の見返り方針なる折柄作柄は各地共に稍豐作の見込好なる傳へ頭上又好販の見込として地場實人氣も次第に軟化し…… 一時買預者の間には値段の懸隔甚しかりし為め漸次接近して折合ひ居るも…… 十二圓三十錢等にて前日來十錢方の安氣配なり

●鑵詰類は品薄 中魚鑵詰類は鯖鑵等を初め一般に收獲高減少したる爲め本年製品の出廻り著しく遲退し內地にては昨今品切れもの出し居れりとは是等新荷品は出廻り毎に市價上進し本年五六月の安値時代に比すれば已に一割以上高値を示し……

●精白更に安し 正米は既報の如く精米所の手持原料稍々潤澤なると鮮作豐作の見込みにも拘はりたれば此端……

南大門の週穀
水原白米	三〇叺	大邱胡麻	二六叺
水原白米	二七叺	大邱大豆	二六叺
天安白米	一六叺	大邱蕎麥	一五叺

仁川現物市場
▲移入津比野精米所の買付六百餘俵ありしのみ ▲正米入津なし氣配は依然安人氣なるも一兩日商談行はれず ▲小麥入津五六百叺氣配は保合を唱へ居れり

釜山穀物市場 廿八日
▲正米（十錢安） ……續の模樣にて賣り物ごも本邦初米は順調に…態を示せし爲め買氣進取の氣もなく只當用買入れにして殆ど附値みなき折柄なれば當地にたる商狀なれば氣配不振を示し相場は十錢安なり

仁川米豆取引所仲買人 まるにち 日 仲買店 支配人 土居 電話 二八二番 二八三番

▲大豆 …取引なく小口取引のみにして相場は同案なり ▲新小麥 移出口へ商談出來大同九十二錢まり六圓五十錢にて百十三叺の出來なり

合計	九百廿四個
玄米	七百三十個
新小麥	百十三個
小麥	七十一個
大豆	十個

生魚市場
着荷少なく氣配堅調 タイ一七、サワラ二、スズキ一、ヒラメ九、ハモ八、イセエビ二〇、クルマエビ三〇、マグロ一、ヒラス七、アナゴ一二、アユ三〇

仁川期米
▲二十九日前場 大阪天候晴天 前場寄付は前日比二十錢安…… 大阪より廿六錢安の入電……

電二節三十錢の移入 ……

市場零聞
▲保合小堅し ……天なりしが後晴天…… ▲連節焦付き 手仕舞賣買 ……多少熱心に買ひ居る…… ▲前場の手振 ……之に雷同手口の少なき又注目……

確實 迅速 ㋮ 仁川米豆取引所仲買人 ……

▲當限納會 …… 一圓五十九錢の最安値を現出し…… 十六錢の高値……

仁川米豆取引所 二十九日の十月限
前場	
寄付	十一圓三十二錢
止め	十一圓三十三錢
高値	十一圓三十三錢
安値	十一圓三十二錢
出來高	一萬六千五十石
平均値段	十一圓三十錢

賣買取組高
八月限	二萬二百五十石	
九月限	一萬九百石	
十月限	四萬千三百石	
二十八日後場		前日比較

▲取組高減ず ……
▲仕手の移動に取組 ……
▲高急激に減少 ……
▲灰汁抜けの説高 ……
▲新甫の發會 ……
▲天候の上順を晄 ……
▲賣氣旺盛 ……
▲今續て賣る ……
▲今續て買ふ ……
▲新米格上發表 ……
▲當限受渡高 八月限受渡高は……
▲大々的取組を爲し 解酉內多く……

精白 十二圓四十錢の最高値を現出し…… 十三圓丁度で納會 遂に八萬五千七百五十石てふ大々的取組を爲し

演藝案内

黃金館
電話 一八五二（階上） 三六三七（階下）
天然色活動寫眞 ……

御成座
電話 一一九一
……

黃金館
大人氣大好評滿員續き 午後七時二十分より 大活劇第七名金 第十三 第十四編 ○午後八時五十分より 義士殿中刄傷 ○午後九時五十分より 田村邸切腹まで 奈良丸

大正館
電話八七三
○新派連鎖劇 松葉時雨 全三卷 ○愈卅日限り日延べなし ○次は八月三十一日より ○大冒險大活劇 第八名金 第十五 第十六編 ○天下一品奈良丸式活動大寫眞 義士 神崎與五郎 吉田奈良丸 高弟奈良勝口演 ○新派連鎖劇 海の怪 全四卷 期待されよ當日は正午開館

商業登記公告
……

京城龍山元町二丁目 衛戍病院前（電話一七番）
杉本齒科醫院
齒科醫學士 杉本……

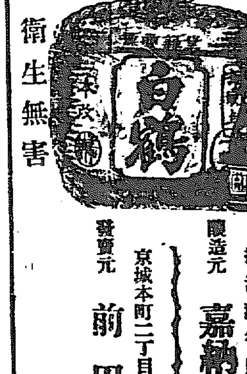
内科 石川醫院
胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 電話 一三九 二七二九

蘇峰學人著 最新刊
大正政局史論
總クロース製 菊版四三〇頁 定價 貳圓 郵稅 十八錢
發行所 民友社
大賣捌元 京城日報社代理部

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、鑵詰、乾物、ビール、サイダ、醬油、石油、洋蠟、其他の日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店 仁川本町 河野本店

急告
本年メリヤス界は破天荒の暴騰
冬物上等メリヤス（シャツ、ヅボン）下各種見切品約壹萬打餘り有り
御希望の方は多少に不拘賣仕る可候間至急御來談願上候
直輸出入業 神戸市加納町一丁目十九番 岡己之作商店 電話三七三九番

各位
※御上神の際は御立寄願度候

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害
醸造元 攝津國御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
同 龍山出張所
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

内科小兒科 外科花柳病 診察 自午前八時 至午後九時
西小門町舊醫院跡（電話一三二五）
高井醫院分院
院長正六位勳四等醫學士 高井…… 副院長千葉醫學士 松崎正……

宮本武藏

第百四十四回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

毛利宗意軒の傳へる所の法術、其他天文地文一切の秘奥を覺れた四郎時貞、元來聰明の性質武藝十八般に渉つて居る所へ、右の秘術を授かつたのは虎に翼を添へたやうなもの、之れから始終天草へ遊びに來て其他の浪士とも交際して居ります、父甚兵衞吉次も之れを聞いて大きに心を痛めて間違ひがなければ宜いがと思つて居たが其後甚兵衞六十歳にして病歿いたしました、跡は岸野に二人の女子であります、所が岸野は賢婦であるから、夫に代つて三人の子女を育てゝ居た、其中四郎十六歳に相成り當人の志では日本國中を遍歴して諸侯の動靜を窺ひ機會あらば天下を我手に握りたいといふ大志旅に諸浪士も之れを勸めますから、十六歳の夏ブラリと國許を立出で先づ江戸表を志して上つて參りました、といふのは母の弟が須佐半左衞門といつて細川家へ仕へて居ります、其半左衞門の悴を摠之亟といつて四郎には從兄に當ります、此須佐父子を頼つて江戸へ赴き、細川越中守忠利は九州隨一の大名聞ゑる名君であるから之れへ仕官を申込み、徐ろに天下の動靜を窺はうと考へましたから、十六歳の少年としては大膽なもの、越中守忠利侯備うといふ事は御存じないから宮本に申付け、眼前に於て技術を試み、天晴なものであるといふ武藏の言葉があらば召抱へやうと思召した、さて宮本武藏が上意を承はり、待つ間もなく其れへ立出でました益田時貞、遙かの末座に手伏いたす、須佐摠之亟前へ進んで「上意に隨がひ益田四郎儀召連れ罷出でましてございます 忠「左樣か コレ〳〵目通り許す、近う進め 四「御目通り仰付られ四郎身に取りまして冥加至極、有難く存じ奉ります 忠「其方弱年乍ら武藝諸般に通じ、殊に兵學にも疎からぬ由摠之亟より聞き及ぶ、予が家に仕官の望みか 四「ハッ 忠「予も其方如き少年を手廻りに召使ひたい、併し我細川家は祖先細川勝元公以來武藝名譽の人物ならでは召抱へんといふ家の掟ぢや、之れに居るは當家名代の宮本武藏、其名は豫て聞及ぶであらう、目通りに於て宮本に申付け其方の技倆を試め其優劣に依つて其方を召抱へる事に致す左樣心得速かに一手試合を致せ 四「ハ、ツ有難き仕合せ、御意な承はり居ります宮本武藏先生は豫て弱年未熟の私をお試し下さるは恐縮の至りで何卒お手柔かに御教授下し置かれまする樣 武「之れは御叮嚀なる御挨拶、拙者とても未熟乍ら君命に從がひ一手お手合せを致すでございませう」と玆で兩人立上つて支度をいたす、モウ豫て御家來に吩咐てありますからスグに其れへ木劍などを出す、此時分だから袋撓などは使はない木太刀で、兩人肩衣を脱いで襷十字に綾取り汗止めの鉢卷をなし、袴の股立を取り上げ、其處へ立出で式代いたす、御前試合といふ事を承はつて家中の面々、我も〳〵と出仕いたしましたから、さしもに廣き大廣間も人を以て埋まるばかり、須佐摠之亟も己れの推擧した益田四郎、宮本には及ばずともせめて相對位ゐにはさせたいと心配しながら見て居ります、其中、益田四郎に於ては少し長い木劍を取つて一禮を濟まし立上つて中段にピタリと付けた、武藏も一禮して立上ると大小二振の木劍を兩手に執つて其れへ進み、兩方の木劍を二本前へ突出して陰曲といふ構へにした、四郎は兩刀は初めてだから不思議な事をすると思つたが武藏の方でも四郎の身體を見ると流石神童といふ評判を取つた位ゐ、身體少しも隙がない、ハテ不思議なる少年かな、聞しに勝る使手、木劍の蔭に隱むばかりの有樣、互にヤツといつて付けたなり氣合を計つて居る、坐中一同「什麼でござる流石の宮本先生も容易に打込まない所を見ると伸々の技倆と見ゑますな「左樣さ、未だ年は往かないが大變者で、何でも天狗の生代りだとかいふ評判でござるから流石の宮本先生も容易には勝てますまい」と噂をして居る何時まで經つても伸々變化しないから大守を初め一同什麼した事かと見て居ります。

●大好評の婦人畫報 鮮明美麗を以て斯界の好評を博せる東京京橋東京社發行の『婦人畫報』九月號には栗原玉葉女史の美人畫を卷頭に、新避暑中の久邇宮三姫宮殿下、澄宮殿下の御避暑姿を初め奉り、三條公爵、鍋島子爵、島津男爵等の令孃及び輕井澤・湘南・房州等に避暑中の名家の夫人令孃等の寫眞を滿載して目先新しく讀み物には新渡戸博士外數十名士の趣味溢るゝ記事に充ち殊に菊池幽芳氏の長篇小說お夏文代は今回においていよ〳〵妙境に入れり 一冊三十錢市內各書店にあり

八月卅一日九星 舊八月三日庚子 本命三碧東 定 佛滅

▲三碧● 極内の知れる事有日新來見合 坤の方は吉婚姻東▲四綠● 氣の揃ふ日轉居開業入學求職金件婚禮井戸掘泌往出池等皆吉▲五黄● 他の頼まれ事の爲に困難せんとす 注意新事手控當の事は吉▲六白● 好ましからぬ事有日新事手控當事は青佈生に注意せらるべし▲七赤● 間のびな事有日新事手控事は 吉人に物を托すると勿れ▲八白● 姉妹の中にも行違ひ生ぜんとす新事手控事土工は妨なし▲九紫● 名譽の日轉居開業入學名弘求職棟上婚禮取大なる企劃を計る等皆吉▲一白● 眼潮の日轉居行商 入學金作出漁求職婚姻縫製紙製菓菜等吉▲二黑● 依頼心の多き日新事手控事は吉一切のせわ事ん慎す

天然の美をさし遍に現しおし化粧榮かゞやくばかりの

ホーカー白粉

一日早くお使ひになりますと一日早く美人となります

東京で一番よく賣るホーカー液と姉妹化粧料として確信有新發見の白粉

御參考迄に

■塗けて生れつきの様な白さになる
■諸方の肌にもピタリと合ひ
■淡く力が強いのでお化粧崩れがしない
■他の白粉に類似の出來ない美白原料が使用してある
■自然の濃淡自在なお化粧が出來る
■皮膚營養の美容劑を含む
■少しの毒物もない

定價 一瓶 廿五錢
送料 內地 八錢 滿鮮 卅錢

全國到る處小間物化粧品店藥店に販賣す若し品切の節は本舗宛直接振替又は切手代用にて御注文を乞ふ

ホーカー液 ホーカー美髮液 ホーカースヰート ホーカー白粉

東京和泉橋 本舗 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六

MITSUWA QUINA IRON WINE.

is made after a through scientific investigation, is absolutely free from defects found in general tonics on the market: is very delicious, fragrant and perfectly absorptive and assimilative.

As a tonic, for persons of weak constitution or in deseases of anaemic or of debility, in weakened digestions, etc., it is unrivalled.

Price ¥ 1.50

滋養強壯料

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

ミツワ規那鐵葡萄酒

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絕

(現品縮寫圖)

技師松田健彥

規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、强壯等の諸効驗を擧ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸收せられ、其の効價の愈增大することは既に公知の事實に屬すと雖、其の製法不當ならんか將又其品質不良ならんか、之を服用するも啻に無効なるのみならず、却て不快なる結果を齎らすこと言を俟たざるなり、然るに本品は歐米に於ける諸種の製品並最新の學說に就て調査研究を重ね、山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、人造着色料を用ひず、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に變敗する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、榮養不足、慢性の發熱並下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並病後の衰弱、一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飮料たると同時に、精神の困憊並身體の疲勞を回復し、元氣横溢精力增進を欲する場合に推奬すべき絕好の家庭必需品なり。

定價 一壜金壹圓五拾錢

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京一七一〇番 丸見屋商店 營業部電話浪花三〇八四、四〇九〇、四五〇四番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

★株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話長五八番 貯金係京城一九四三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

葡萄酒と云へば何人も直ちに蜂印香竄葡萄酒を想起するは何故ぞや?

蜂印香竄葡萄酒には萬人の腦裏に徹底せる強大の特色あればなり

曰く 品質精良!! 美味滋養!!

優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる本酒は只朝夕一杯づゝにして血を增し肉を肥やし力となる!!

賣弘元 東京本町 近藤利兵衞

最上醤油

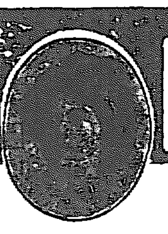
特許機械製 ほまれ味噌

絕對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於始政五年紀念物產共進會
金牌受領

釀造元 仁川港 日本醤油株式會社 電話七五一番 振替京城一七四番

京城出張所 電話二四五番 振替京城五二三番

お待兼の



アイボリー石鹸

漸く着荷。不相變御愛用を願ひます。

エグロン石鹸は清冽なる芳香を以て有名。アイボリー石鹸には芳香なきも共に世界有數の純良石鹸です。

輸入及製造元 東京・丸の內 [illegible]原商店 [illegible]町二丁目

京城日報
三十日朝刊 (夕刊と合せて八頁)
定價 一部金五厘 一ヶ月金五十錢 郵税一ヶ月金拾五錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢 ▲特別代用二號活字 ▲三號活字
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯局 經營部 三四五番 一六〇〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

第三版

下關期米特電
九月限 一四九、八〇 一五〇、三〇 一五〇、〇〇 一五〇、三〇
十月限
十一月限 一四九、五〇 一四九、五〇
十二月限 一四八、七〇 一四九、一〇〇

仁川米豆取引所
後場寄月 ……中限寄付十四圓八十五錢止め八 一四、八〇

▲依然動かず 天候調和となり大阪の暴落なく十 ……三圓三十二錢より……其他買……にて四……

▲受渡小變動 當月限受渡高は前報せしが其後受渡高五千石を減じて二萬〇二百石となり渡し方一萬〇二百石……受取方一萬三千五百石……

▲新甫俟人氣 ……月末職は敗訴の談判に歸し昇げに到る者行てあるとの事なるが果して如何……する利喰多く今節の……買越したる等にて……

十三圓三十三錢 十三圓三十四錢 十三圓三十二錢

九月限 三千七百五十石
十月限 三萬二千百石

●又々赤痢發生 仁川にては……直ちに患者を……行へり

虎疫と朝鮮

京城日報

内地に於ける虎列拉病は今や全く蔓延して、長崎を始め神戸大阪等重要都市を犯し、遂に東京に侵入するに至れり。東京電報に依れば、發生以來今日まで各地を通じて罹病者の數は實に八百六十名の多きに上れりと云ふ。如何に其の執拗に猖獗を逞しうせるかを知るべく、強兵を誇る我が日本帝國民と雖も、此の虎軍の來襲跋扈には洵に辟易せざるを得ず。

内地に於ては目下有らゆる手段を盡して之が撲滅に努力しつゝあり。流行地に於ては恰かも戰時非常の際に於けるが如き對策を施こしつゝあるが、流行地以外の地方に於ても、苟くも執り得べき防遏手段は用ゐられずと云ふ事なし。從て如何に獰猛なる虎疫と雖も、進歩したる衛生設備と國民の自覺的撲制の下には無限〔……〕が絶滅を見るの日も遠からざるべしとは吾人の信じ、且つ希望する所なれども、油斷は虎疫そのものよりも恐ろし。苟くも油斷だにあらば、却て之れが絶滅は容易の業に非ざるべきが故に、内地に於ける對策が寸毫も遺漏なからむことを望みて已まざるなり。

我が朝鮮は海を隔てゝ直ちに内地に對し、貨客の來往は最も頻繁にして、虎疫に對しては頗る危險の地位に居る。内地に虎疫發生して患者續出するや、朝鮮の當局者は深く慮る所あり、時疫に關して一般に諭告を發し、起居飲食を愼み公衆衛生上一層の注意を喚起し、淸潔方法の勵行を計り、一切の施設を備へ以て該病の發生を未然に防ぐと同時に、釜山を始め苟くも朝鮮に於ける貨客出入の要路門口には嚴重なる檢疫法を行ひ、殊に内地との交通の最要衝に當れる釜山港に於ては、此機會を以て全國未だ其比を見ざる程の完全なる檢疫設備を施こすに至れり。斯くの如くして、朝鮮には虎疫に對し嚴重なる戒嚴的防遏の手段を執行せり。而して幸にも今日まで未だ一名の該病患者をすら鮮内に出すに至らざるは、朝鮮の名譽として吾人の欣喜に堪へざる所なり。

新政施行以來朝鮮の開發に當りて保健衛生の施設については、當局者の當に熱心努力する所たり。之が爲めには醫療機關を周布せしめ、一方には民衆自身の衛生を勸奬し、公衆保健に關する施設は間然するところなく、此の當局者の努力と、民衆各自の注意とは、相俟ちて朝鮮に今日まで各種の時疫をして猖獗を逞うするの餘地を與へざりき。從來は然りと雖も、若し不幸にして一度隙を超えて虎疫の侵入し來らむか、朝鮮に於ける慘害は、内地の比にあらざるべく、交通の遮斷杜絶、産業の不振、人心の恐慌等、想像するだに戰慄を禁じ能はず。茲に於て吾人の希望して已まざるは、當局者の熱心努力と併せて一般民衆が自覺的に努力し、比隣相助けて公衆衛生に最善の注意を盡さむ事なり。節京秋に入ると雖も、苟くも起居飲食に油斷する事なく、現下の虎疫に對して、朝鮮は遂に一歩をも踏み込むの間隙を與へざりしとの名譽を保持するに努めよ。

經濟資料 朝鮮の陶器工業(二)

―實際的經營の一方案―

如上述べ來りたるが如き大經營を我が朝鮮に採用せんか、創始時代に於ては職工養成費其の他に於て多少の損失を免れずと雖も、良好なる原料豐富にして勞賃廉なるが故に將來發展の時期に至らば頗る有望なるのみならず、需要地として朝鮮の外、滿洲方面に二百萬圓、南洋、印度方面に千五百萬圓の年需要ありと稱せられ、歐米等富國の需要又多額なるものあり、故に大經營にて製造する時は主として輸出品を作るを要す、例へば百萬圓の資本を以て事業を開始する時は廉價なる日用品のみにても一箇年殆んど百萬圓に近き製品を市場に供給することを得。

□全鮮の移入額

四、五十萬圓を自給し尚且つ之を隣接支那市場等に供給することを得べく、殊に鮮内の需要は鮮内に於ける原料並に勞力を以て直接半島内に於て製作し、大に餘力を備へ低廉の勞銀と良好の原料を利用し進んで海外にも過剩製品の輸出を爲すべきこと國家經濟よりするも個人の採算よりするも最も策の得たる方法なりと云はざるべからず、而して我が朝鮮内に於て大資本を投下し大規模の設備を以て輸出向日用品の製作を爲さんとするに適當せる場所は氣候、原料其の他の關係並に製品船積の便否等より察して第一に釜山附近を推さざるべからず、又仁川は便船の關係上只一回の積込、若くば下の關にて一回の積替を行ふのみにて輸出港に仕出すことを得るは其の他製造上の好位置に在ると共に釜山に次で好適の地たるを失はざるべし。

□京城に好適の家庭的經營

京城は半島中最も美術工業に適する素質を有せる高等遊民多かるべし、故に美術的陶磁器の製造地として將來の發展を期すことを得べし、然りと雖も前述の如き大資本を投下し初めより大工場を興さんとするは、半島工業界の現情より觀るも未だ容易に實行する能はざる理想論に過ぎざるが如し、殊に本業の如きは一般工業の中に於ても、分業的多種の技術を相俟つて始めて其の目的を達せしむべきものなるが故に比較的小規模の經營より開始し或は無職業者を利用して各部分的技術を修得せしむる等勞少くして功果多き方法に依り、秩序を逐ひ漸進的の發展を圖らざるべからず、此の見地より半工場經營に依り多數の遊民を利用する家庭工業に依り、健實にして且つ比較的大量の生産を擧げ得べき而も我が京城に甚だ好適せる經營の方法あり、以下本項に就きて略述すべし

武藏の高麗郡

高麗川に沿うて進めば獅子岩樾なる小槻あり此の邊景色却々に佳なり其の左方の森中に樓門見ゆ之れ即ち高麗王の墓ありと稱せらる、聖天院にして丈餘の大なる板碑建ち山門の左右には蓮池翠葉を浮ぶ高さ四尺餘の燈爐左右に並立す上下は大石にて火口は木の柱に障子を穿めたる古風なるものにて朝鮮にても此の形の物あれば此の燈爐も亦高麗の遺風を傳へしものなるべし

△高麗王の墓 と稱するものは山門の右手崖下に在り高さ六尺五寸程の五輪塔にて四面には佛像を刻みありしと新編武藏風土記稿には見ゆれど只今の處は缺消して判然せず詳細に熟視するも佛像などのありしとも思はれず蓋し聖天院は天正十九年寺領十五石の御朱印を賜はり古は大坊なりしといへど寛永年間回祿に罹り什寶古記錄悉く烏有となりて草創の事實年代等總て知るべきものなければ今佛像の在否に就ても斷言するを得ざるべし此の塔に就ては種々の議論あるも朝鮮の古墳中にも斯る形式のものあれば恐らく高麗の遺風を傳へしものなるべし附近にも尚ほ二三の板碑存す聖天院は

△高麗山勝樂寺 を稱し新義眞言智山派にて中興の開山を秀海と云ふも不詳の年月も今は詳ならず寺には高麗傳來を稱する歡喜天のあるのみなり本堂の古鐘には文應二年の銘あれば古き起立なる事は明なりとす聖天院の北方に高麗神社あり其又北に高麗王の子孫にて高麗興丸と云へる人あり赤銅造及なし延金の太刀一振は一見千年以前のものたるは明なり外に長五寸位の唐金の獨鈷二寸位の駒の角を始め、高麗氏の系圖等あり其中に足利の鷄足寺に居たりし慶辨と云へる人の寫せしと稱せらる大般若經六百卷あり其他掛佛三體ありて一番大なるものは神佛混合時代には高麗神社の本地佛なりしと、既記の如く高麗郡は元正天皇の靈龜二年に駿河外六箇國に散在せし高麗歸化人を一箇所に集めたるものなるが元來關東の平野は早く皇化に浴せしめんと屢々東征を行はれし事もありて其後歸化朝鮮人を附近に配置して未開を開墾せしめしが獨り高麗人のみならず新羅、百濟人も混り居たれば新羅郡をも置かれたる事あり即ち今白子志木は新羅の轉訛せしものなるべく要するに高麗人が武藏野の一角に集まりて開墾に努めたる其影響は殖産工業上にも種々の面白き事あるべきは疑を容れず彼の武藏鐙など稱するは高麗人の製作なりと傳へられ居れり武藏野文化史の研究上には高麗人の拓殖は興味ある研究問題なるべし高麗の子孫は其後南北朝頃より戰爭に参加して活躍せし事は事實なるが如し古昔は同族結婚なりしも他と婚を結べるは源氏が始めてなりと傳へらる高麗村大字新堀に

△高麗大宮あり 大宮大明神と稱し近世に至る迄高麗一郡の大祠にて別名を白髭明神とも云ひ[illegible]高氏の祖廟たり其の白髭と呼ばるゝは高麗王が高齡白髮なりしより此の名ありと傳へらる高麗人の住居せし附近に白髭明神を祭りしもの頗る多く約百三十餘箇所あり中には社名を異にするも祭神は白髭明神なり入間川に沿ひて廣瀬神社なる祠あるが之れも其の一なりと稱せらる文德實錄に『武藏國廣瀬神社列於官社』と又た新記には廣瀬の祭神は白髭明神なりと神體は束帶せる木の立像にて長さ一尺二寸又本地佛六寸四分の圓鏡中に鑄造せる佛像あり社の邊竹樹鬱茂し神木と稱する大欅三株あり一は圍一丈一は圍一丈五尺一は圍二丈六尺餘ありて一見其の蹟たるを知るに足る此の高麗人と關係深き白髭明神の分布を研究するも亦頗る興味あることにて彼の東京向島に在る白髭神社の如きも高麗川より荒川を繞うて下る地形上より川と人文の關係に考へ見る時は何等かの關係を存するやも知れず要するに高麗郡は千年以前より歴史を有する地にて開拓されたる歴史を有するより更に一歩を進めて之が研究に努めんか意外の史的發見をなす事多かるべく世の史家の奮務を煩さん事を希望するものなり(完)

日報詩壇

〇曹谿禪房小集　大隆　鳩仙
僧房寒靜篆煙香。四顧風光引興長。吟意自添禪味好。淸適偏是詩無量。
白雲布衲道心微。寂滅曹谿絶是非。鼎煮淸風老松下。吟朋偶有敲禪扉。
評曰　空人無人、水流花開

〇同上　栗原　華陽
滿地靑苔不染塵。松陰巨刹似無人。天風浩浩幽懷足。悟了山中禪味眞。
評曰　眞是脫俗之作、淸明可誦

〇夏日雜詠　古城　梅溪
種花引水還移石。手築假山慰老懷。酒過故人味殊美。花當開處景逾佳。
恰是街頭漲熱埃。屋隅閑處小池開。更合童子修庭樹。不許等閑剪翠苔。
修庭芟草日無事。只護莓苔滿砌靑。更絕門前塵俗跡。吟詩煮茗坐新亭。
評曰　首首淸淨、凉氣撲撲

〇綠陰煎茗　村上　石城
新陰綠樹午風淸。幽靜孤亭無限情。解道奚童煎茗處。松濤恰著遠雷聲。
評曰　流暢

〇園居夏夜　安永　春雨
獨坐茅軒下。悠然對翠微。小園燈一穗。深夜百蟲圍。
雨餘梅子熟。雲散月蛾來。蛙鼓動天地。擲筆歌莫哀。
評曰　句短知多

◎書籍案内◎

蒙古通誌　中島竦
帝範臣軌(訓字解)　市川鶴鳴著
太陽萬年毛筆
附屬品替穗
同
スクリップ
最新漢和辭典
漢學速成
奴內藏樣
漢學穣話
トルストイ
法然上人
新俳句
兩京去留誌
隨感錄
中山大納言
(小說)高麗男
蠻勇豪語
(學生字典)漢和辭典
雀羅
明治天皇
同 鮮文
(中將在五)業平秘史
長者星
前太平記
朝鮮産業指針
高杉晋作
朝顏及其栽培法
三國千字文
學理的事業經營法
財界失敗論(上下)
朝鮮熟語解
露國武斷外交
朝鮮不動産登記商業登記申請(書式並心得)
銃獵之趣味
朝鮮新地圖
(明細)京城府新地圖
(明細)膠州灣地圖
稻田一作
同 後編
女義士傳
藤公餘影
名婦傳(各)
赤穗義士傳(各)
御前講談
伯爵分次論
滿蒙處士
園民年鑑(上下)
理想の家
假名貞觀政
擅の道指南
富しる要庭
致富の要訣べ
(小説第五版)過去の罪
小説 妻
(校府及學合)樂村規
書法提要
朝鮮語會話集
(朝鮮)書畫家列傳
世界の變局
山水隨緣記
吉田松陰

京城日報代理部　京城太平通壹丁目　電話長六六〇番 振替貯金口座京城三二〇〇番

醇良清酒
仁川本町四丁目
吉金酒店
電話七六四番

新刊書御案内
書名　著者　定價
圍碁襲擊戰法　瀬越四段　六〇
圍碁互先布石攻合法　中川龜三郎　三〇
增訂哲學辭典　朝永三十郎　二五〇
心靈の修養　宮川經輝　一〇〇
通俗世界歴史英吉利帝國　坂本健一　四五
獨逸の膨脹　淺田小太郎　一〇〇
綴り方教授の根抵　……　一三〇
朝鮮帝官吏受驗者必讀法律問答　坂上綱吉　九〇
同 法律講義　同　四〇
同 朝鮮行政法規大意　安達大壽計　四〇
同 會話評文述成　同　四〇
母と子　佐藤紅綠　九〇
のさぼさけ　久世勇三　九五
教員檢定受驗案内　東華堂　六〇
星の歌舞伎　泉鏡花　九五
藤村文集　島崎藤村　六五
新アラビヤンナイト　三上義造　九五
人情學　青柳有美　七五
英和工學辭典　丸善株式會社　一二〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二八〇六　振替京城二五三七

寫眞出張撮影
寫眞銅版・亞鉛凸版
迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應じ候
京城日報社　寫眞製版部

朝鮮總督府
大正六年朝鮮民曆發賣人募集
出願期限十月廿日迄●定價一冊四錢
發賣人へ賣下價……

工事請負公告
京城府茶屋町十橋架替工事
……
京城府

預金利子引下廣告
九月一日ヨリ左ノ通リ利率改正仕候
定期預金　年六分
當座預金　日歩九厘
小額預金
大正五年八月
株式會社　漢湖農工銀行忠州支店

九月一日期日切迫
簿記生徒募集
銀行會社商店
京城明治町一丁目
京城簿記專修館

定價表御申込次第送呈仕候
漁具商　網京商店
京城南大門通二丁目
電話二二九　振替京城九〇八番

熊平謄寫版
印　製造發賣元
京城本町二丁目　熊平支店
電話長六二四番　振替京城二二番

★百三十銀行仁川支店
創立明治十一年　資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
預金貸出其他一般銀行業務は精々御便利に御取扱可申候
振替府金京城五十五番　電話長五八一〇一番

日韓書房　新版報告
田山花袋著　野の花　定價五十錢 送料八錢
下田次郎著　母と子　定價七十五錢 送料十錢
朝鮮地質鑛産圖附　朝鮮鑛業要覽　定價一圓二十錢 送料八錢
千葉魁村著　新選子規句集　定價六十錢 送料十錢
朝鮮總督府普通文官見習雇員試驗問題及解答　定價六十錢 送料八錢
京城本町二丁目

通俗産業叢書(第三十冊)
果實蔬菜罐詰製法
農學士 恩田鐵彌君校閲　神宮司榮君著
東京本町　博文館

公告
本月貳拾六日當銀行臨時株主總會ニ於テ當銀行ハ株式會社京都商工銀行ヲ合併スルコトニ決議致候ニ付テハ債權者中右合併ニ對シ御異議有之候向ハ來ル拾月參拾壹日迄ニ其旨御申出相成度商法第七拾八條第貳項ニ依リ此段公告候也
大正五年八月參拾日
株式會社第一銀行

四段瀬越憲作先生處女作
圍碁襲擊戰法
今春『萬朝報』の棋戰に於て近世の怪傑野澤五段の先番を破り滿天下の客を驚倒せしめたる瀬越四段は『敵陣を襲擊して之を突破する戰法』を創し其機略縱橫直に戰敗を轉じ勝利を得せしむる未曾有初陣の快著
東京本町二丁目　大阪屋號

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位　堀池常作
事務所 大邱府南龍岡町

○林公使施秘書折衝

占領撤退軍艦引揚げを要求す

二十五日外交部秘書施履本は林公使を訪問し鄭家屯四平街に於ける支那官房を占領せる日本軍隊の迅速撤退を要求し且つ廣東に於ける嵯峨艦の引揚げを要求し更に日本政府の是等に對する意嚮を質問せり公使は之に對し鄭家屯事件は酒匂領事の報告を得ざれば判明せざれども日本は決して多大の要求を爲さず尙日本軍が二十八師の包圍攻撃を受けたるに就き一時四平街より撤兵を出したるは萬己むを得ざりしものなり固より之が爲め日支間には平和斷絕の惧れなし日本は斷じて支那の主權を侵害するの意無しと答へ更に軍艦派遣は單に居留民保護の爲め已むを得ざりしものにて武力干涉の意に非ずと辯明せり外交部は右林公使との問答を二十九日午後開會すべき衆議院秘密會議に附し政府委員の答辯材料に供すべしと(北京特電)

○鄭家屯事件と閣議

酒匂領事の調書報告到著

鄭家屯事件に對する酒匂領事の調書報告書類廿八日外務省に到著せるを以て二十九日午前臨時閣議を開き凝議する處ありたり(東京電報)

○有力議員と穩便主義

二十八日衆議院は鄭家屯事件質問の爲め段總理の出席を求めたるも段は之を拒絕し三十日に出席すべしとの回答ありたるを以て普通會議を開き散會せり尙鄭家屯事件に就き國會議員中の主要人物は此の際日本の惡感を招くは不得策なるに就き支那側は穩便の處置を執るべしと主張し居れり(北京特電)

○龍、朱將軍印綬授受

龍濟光は二十七日朱慶瀾に印綬を渡せり尙廣東と香港間との通信は二十六日より開通せり(廣東特電)

○日露貿易聯合會

二十八日午後五時より東京商業會議所內に於て開催せる日露貿易業者聯合會には露國側より商務官シュラー氏商務省內露國輸出協會特派員シユミット氏等出席し相互有益なる講話あり好成績を收めたり(東京電報)

○對支有志演說會

築地精養軒に於ける對支有志大會の決議に基き演說會は連夜各所に於て開催、聽衆滿員盛況を呈す(東京電報)

○併合記念招宴

八月二十九日は朝鮮併合六周年記念日に相當するを以て寺內總督は同日夕刻當時の內閣書記官長以下各書記官、法制局長官其の他關係者を築地瓢屋に招待し記念の爲め晚餐會を催したり(東京特電)

○水產製品取締

農商務省に於ては鮑並に海鼠濫獲の弊を防遏せんとするの目的を以て八日鮑及び海鼠の製品取締規則を發布し一定量の製品に非ざれば其の販賣を禁止し且つ乾鮑の鑵詰、鮑、海參の販賣者は其の容器又は包裝に原產地名を表記せしむることゝなれるは既記の通りなるが同規則は愈九月一日より實施さる可く鮮內の製品にして內地に移出若くは經由するものは孰れも同規則の支配を受くる筈なれば當業者は此際注意肝要なる可し

○朝鮮海運殷賑

朝鮮海運界の近況に就き吉田朝郵專務の談を聞くに浦鹽行き諸品の旺盛なると更に內地海運界繁忙の爲め運賃低廉なる朝鮮近海に廻航する者頗る少なき等の理由により朝郵社船は例年昨今夏枯れ時期にて閑散なるに拘はらず本年は相當の積荷あり大體に於て殷賑の狀にありと

○重石界沈衰

京城に於ける重石界の近況を聞くに鑛氣並に輸出制限等の爲め買入れ所の減少並に手控へにより買收方面の氣落ちせるに一方各方面の採掘者手は漸增の趨勢にて最近市場に搬出せらるゝ重石の量は決して少なからざるも手打ちは存外少なく從つて各方面に荷間へを見るの止むを得ざるが相場は七十パーセント位の良品にて貫八圓を切れ乃ち京城にて噸二千圓漸くと云ふ所なれば紐育相場は千七八百圓に下落せる採算にて斯界は頗る沈衰の形なり

元山

▲最近市況 元山地方に於ては入荷初旬以來漸次入荷を呈せり[illegible]少の思惑筋ありて[illegible]移入盛況を呈せり相場は不相變稍々高止り[illegible]

▲八月二十日を以て大正四年度歲入出決算報告其他數件に就き評議員會を開き[illegible]

[illegible]り漸く避暑期の終ると共に引き揚ぐるもの多く去る二十五日五十人の[illegible]

[illegible]會の組織成り同會は當分の中毎月一回集會の上有らゆる方[illegible]

[illegible]る目的にて元山教育會を組織すべく發起者側に於て盡力中なるが同[illegible]

●東拓八回移民

東洋拓殖會社にて募集中の第八回移民は九月末日各府縣の受附を締切る事となり二十八日迄の所申込み總數七百五十戶に達したるが最近諸種の問ひ合せ毎日非常の多數を算し居るに付締切迄には一千戶を遠く超過すべしと

●愛婦會献金額

愛國婦人會にては同會員並に一般婦人子供に對して明治神宮奉贊獻金を募集中なりしが其の成績良好にして八月二十三日迄の獻金者は一萬六千餘名を算し其の金額二千三百四十二圓八十九錢に上りたるが尙ほ地方支部より今後送付す可き金額も少からざる可く愈々〆切りまでには相當巨額に達する見込なりと

●山縣總監へ挨拶

救世軍朝鮮本部司令官フォーレー氏は過般山縣政務總監に一書を致し歐洲戰爭開始以來二周年に際し日本帝國が英國と同盟の義を尊重して此の戰爭に參加せられたる好意を謝し且つ世界人道の爲め速に平和の恢復せられむことを祈る旨を述べたり

●京城商議總會

京城商業會議所の臨時總會は二十九日午後二時半より開會出席議員二十一名原田會頭議長席に著き曩に東京に於て開會の全國商業會議所聯合會に出席したる西村副會頭の報告あり次に會議所の發達に伴ふ自然要求として商業部、工業部、金融部、交通部の各專門的なる調查部を設け議員中より約一名の幹事を設く可しとの議案に對しては來る九月四日役員會を開會したる上再び總會を開き決定することゝし四時半散會せり

●釜山浦鹽視察團

既報の如く釜山商業會議所主催にて浦鹽より滿洲方面視察團組織に付其後各組合間に於ては代表的視察者協議中なりしが廿八日愈々確定し會議所より各自の寫眞添附のこと慶尙南道警務部に旅行券下附方を申請せり其人名左の如し

會議所派遣員 議員 石原源三郎
精米組合囑託員 中村克己
貿易業者 許斐永治 許斐亮一郎
ゴム製品販賣 福岡屋 朝日商會 山崎貞次郎
外に群山會議所より
精米業貿易業囑託 森菊五郎

以上の五名にして九月六日釜山出港の平壤丸にて出發すべしと而して一行は浦鹽より哈爾賓を經て奉天に至り解散し奉天よりは各自歸路に就く筈

●忠南の產業=副業獎勵の效果顯著

小原忠淸南道長官談

忠淸南道に於ける水害は其後全力を傾けて復舊に努力したる爲め殆んど全部快復し

▲收穫豫想 は平年作に二割增は確かならんも此數日の天候頗る氣遣はれ居れば多少減少を見るに至るやも計られず平年作は百二十萬石にして全農作物の被害は五十萬圓と云ふなればさしたる事もなき次第なり害虫驅除に就ては三百町步餘の水田に對し石油驅除の方法を講じ頻りに石油缺乏等の無き樣各方面腐心中なるが昨年非常なる被害ありし爲め警戒心は可成り徹底し居る模樣なり松蛅蟖が本年大に勢ひ弱りしは不思議なる程にて其原因は雨多かりし爲め白殭菌發生したるによる報告によれば殆んど全部斃死したりと云へど實は三四割乃至六七割なるべく自餘を全滅せしむべく郡守會議にて申合せたり過去四百年以來の史を按ずるに時々全部斃死したる例はあり所謂土雨も本年は二度許り降りたり

▲植林は二種 と成し鐵道沿線地方は十年計畫自餘は二十五年乃至三十年計畫にて全部靑山と爲す故りにて目下頻りに計畫を進めつゝあり桑園反別の廣さは全く道長官の功績にして一昨春四百五十萬本を全部植付けしめたるが今皆完全に芽を吹き居れり恐らくは植付反別の廣き朝鮮全道中第一ならん統計上より見れば右の如けれど事實は如何はしと秘かに疑念を懷けども近年桑葉を盜出して迄も養蠶する者發生したる例より推すれば養蠶に對する思想は充分に發達せるものと謂ふべく此氣運を利用して大計畫を立て大に斯業の發達を爲さんと企畫しつゝあり

▲昨年度の賣收 は千七百石にして本年度の收穫豫想は二千四百石なれば右の計畫に隨ひ十年後には六萬石に達せしめんと期待しつゝあり畜牛は現在農家戶數三戶三分に對し一頭宛の割合なるが統計上より見れば撲殺と移出とにより漸次減少しつゝありされど事實は然らずと目されつゝあり之に對しても十年計畫を施し十年後に於ては全農家一戶に一頭の割と爲すべく斯くて一年の移出頭數を一萬に引上げんと計畫しつゝあり藁細工(繩叺)は僅々な馬鹿にならざる副業にして頃日郡守會議を開きたる際道廳より一定の方針の下に諮問したるが實現は大に進み居れるより此勢ひにて進まば各郡共其製出率の步合を高め行くべし

▲繩叺製造 が農家の副業として顯著なる位置にあるに至れるは殊に此二三年來にして刈入れの時期に際して打ち方等を教授し機械は土地にある材料を以て製出し一臺一圓五十錢位にて手に入らしめ居れる等道廳よりも相當力を注ぎ居れる爲郡によりては八百臺位を有する地方もあり更に獎勵を加ふれば千五百臺位と爲すは容易なるべく是又計畫を進めつゝあり韓山苧布が現在朝鮮の上流社會に於て缺く可からざるものとなれるは人の知る處なるが一時支那麻布に壓倒せられ稍沈衰の傾きありしも其後道の施設宜しきを得近年改良獎勵の結果次第に增加し現に年額四五十萬圓の產額となるに至れり然も是れ殆んど總て女子の手仕事たる事實より推すれば蓋し小ならざるものと云ふべし右は山林、養蠶、畜產其他農家の副業の一斑を語りしものなるが一般農民は近年頻りに馬鈴薯、甘藷の耕作を爲し安き是等を食ひて高値の米を資出する爲め

▲生活狀態上進 せるは爭ふべからざる狀態なり附言すべきは交通上の關係より京釜線大田に內鮮人向の家具工業を起さしめんと昨年度より不取敢總督府よりの補助を得て普通學校內に簡易工業學校を設けて著々實効を現はしつゝあり更に御大典事業として桐苗を植付けしめ是又相當の成績を擧げつゝあり各道は此記念事業として植林を爲したる模樣にて之に對する最近の朝鮮彙報の統計に據れば忠南が非常なる不成績の如けれど事實は其必要を認めざる程度にあるなり故に特に桐苗を特定せしめて學校組合も學校も個人も植樹せるなり

●漢農鳥致院支店

曩に總督府より認可されし漢湖農工銀行淸州支店鳥致院派出所を鳥致院支店に昇格するの件は愈々九月一日より實行する由

●古海總長歸京

井口中將の赴任を釜山迄見送りたる古海警務總長は二十九日午後九時南大門驛著列車にて歸京せり

●木村理事歸京期

株主總會列席の爲め東上せる朝鮮銀行理事木村雄次庶務局長山田松熊の兩氏は相前後して九月三四日までに歸京すべしと

●公立學校始業式

京城內の各公立學校は來る一日午前八時半より始業式を行ひ生徒には校長より訓諭を行ひ各職員に對しては曩に發布されたる教員心得を讀聽かせる筈にて一般授業は二日より行ふ可しと

●井口將軍邸宅

井口軍事參議官東京の邸宅は市外淀橋町柏木百六十番地なりと

●朝郵船員增俸

朝鮮郵船會社にては最近社運好況に付使用人優遇の爲め上級下級船員一同平均一割の增俸を行なひたりと

●本田府尹の療養

平壤府尹本田常吉氏は六月以來別府不老町に於て神經衰弱の療養中なるが最近頗る容態良好なるも尙ほ姑く滯在すと

人事消息

▲永井郁太郎氏(早大教授) 二十九日夕入京朝鮮ホテルへ投宿兩三日滯在の筈(昨夕刊京城ホテルとありしは誤報)
▲飯田繁之助氏(淺野スレート販賣所長) 二十九日夜元山より歸京蒲尾へ
▲高田海軍少佐 入京中の處二十八日夜退京
▲藤田義雄氏(撞球名手) 同上
▲相馬三井物產重役 二十九日夜入京天眞樓へ

南善北語

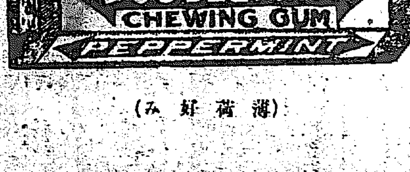
伊太利が獨逸へ向つて宣戰の公布をしたなんどは何も驚くべき程のものでもないが其の裏面には聯合軍側の外交成功を意味して居るから面白い▲殊に中腰であつた羅馬尼が愈々手に唾して立ち上つた處は大出來だ▲斯うなれば希臘も最うだまつては居まい▲聯合軍萬歲▲ソレ〳〵之から勃牙利の挾擊で此奴をギャフンと參せば土耳其は孤立無援となる▲もうヂタバタしたつて致方はあるまい物事も斯う順調に來れば何の事も無▲匈牙利もソロ〳〵內訌が起りかけたらしい秋風と共に獨墺も何だか影が薄くなりかけて來た▲鄭家屯で支蒙兩軍は休戰をして蒙軍は道々北退すると決つた▲處が一方此の機に乘じて張督軍は途中に蒙軍を擁して一擊加へやうと目論見て居る相な▲之れは卑怯だ之でも仲裁人の顏が立つと云ふのだらうか▲まさか蒙軍だつて此の噂を聞ては暗々と退却はすまい何うも誠意のない連中程厄介なものはないと驚くのが野暮かも知れぬ▲工場法施行令が樞密院で盛に討議せられた時都築馨六男が『第何條アタン、パナマ……を作る會社』とあるを捉へて『アタンとは何ですか』と質問した▲『其は植物の名で帽子を作る材料で……』と答へると都築男はハー然うですか其の次のパナマと云ふのは吾輩の知る所では中米の一小共和國のやうだが▲植物の名と國の名が並んで居るのは……▲と來たので學者揃ひの政府委員も此奇問には一同面喰つて誰も答へるものがなかつたと云ふ大笑ひ

チウインガムの召上り方

について美人の「可愛いらしいお話」

リグレー謹製チウインガムは普通の干菓子を召上るお積りでチヨイト嚙んで吐き出して了つたのでは、誠に興がございません。是はよく嚙んでおいでの中に自然ゴムが口の中に出來て、嚙めば嚙む程薄荷の味と香りとの絕えない處が値うちでございます

チウインガムの特徵を一口に申しますれば[illegible]



(薄荷好み)

京城 新檢番 富美廻家 千代葉

●ラヂウム に祝福せられたる 京城

獨立門外のは四十七マッヘ

甲州增富溫泉に次いだ含蓄量

藥水に酒を加へて飮むと麥酒より甘い

「古來朝鮮の人が藥水として飮むだ京城附近の鑛泉には驚くべき多くのラヂウムを含有して居る、京城ほど多くのラヂウム泉を有つた處は先づ他所に類が無からう……」と云ひながら中央試驗所の

◆今津技師 は太鼓の胴のやうなアオンタクト、スコープを覗いて頻りにアルミニユーム箔の動き方を凝視して居る「自分は二箇月前に此の倭城臺の官舍に引越して來たがお隣の工藤さんの井戸に非常に冷たい清水があるので或はラヂウムがあるかも知れんと檢べて見ると果して三一マッヘの含量があつた、それ以來自分は腹工合の惡い時など

◆心配なく ガブ〳〵飮むで居るが決して下痢するやうなことはない而已ならず土用中でも攝氏十一度位の冷水であるからこれに少量の酒を加へて飮むと到底麥酒などの比べものではない、京城でこれまで自分のしらべたものでは獨立門外一里程の路傍に岩を開鑿した跡から出るのが一番でこの含量は四七マッヘある、この次ぎが西大門監獄裏山の藥水で三十一マッヘある、卽ち

◆隣の井戸 と同量である、西大門の藥水は目下每日二千人に餘る鮮人が水汲みに行き附近には五六軒の露店さへ出來た始末だが先づ三十一マッヘの含量があるとすれば日本內地にも餘り類がない、ラヂウム鑛泉は何れも岩石を掘鑿した井戸から湧出する、先づ自分の知れる限りでは（主に總督府官舍の井戸に就つて云へば）大和町野田忠藏氏の井戸が二六マッヘ九次ぎに李花洞

◆中央試驗 所官舍山本氏のが二六マッヘ八、總督府裏門の井戸が二〇マッヘ九、總督府裏の御料水が一七マッヘ二六、倭城臺郡山氏のが一七マッヘ八、南米倉町荒井長官々邸のが一七マッヘ一四、旭町陶山氏のが一四マッヘ九三、西大門藤野氏のが一四マッヘ七二、帶昌洞岡元輔氏のが一三マッヘ一二等で其の他南山神社の御神水が二〇マッヘ、百花園のが一八マッヘ

◆往十里の 路傍眼の藥水と稱せられた泉が一二マッヘ、總督官邸元帥樹蔭の下に湧出するのが一五マッヘ五、中央試驗所裏のが三マッヘそれに明治町佛蘭西敎會堂下の森安博士官舍が一〇マッヘ五である、されば南山を中心として殆んど京城府內の各所からラヂウム鑛泉が湧くのである、何分にも一匁八十萬圓のラヂウムは金の十六萬倍、金剛石の數千倍に値する世界

◆最高價の 金屬であるがその附近に氣體となつたエマナチオンは寫眞の種板をやく作用を有し彼の世界ラヂウム溫泉の第三位に居る甲州增富鑛泉（四九〇マッヘ六）附近では寫眞は全く駄目である、また世界で第一位に位する墺太利のヨアヒムスタールは二〇五〇マッヘを含むが內地の有名な鑛泉例へば湯河原にしても〇マッヘ一二位の含量であるから

◆京城のは 實に甲斐の增富に次げるラヂウム鑛泉といはねばならぬ、またラヂウムは種々の病氣を治癒する他に或る種類の植物に對しては其の成長を遲らせる作用があるので或る學者はこれを人間に用ゐて老衰を防ぐことが能きると主張する人もある果して然らば、むかし支那朝鮮の傳說にある不老の水を求めた談しもあながち荒唐

◆無稽の言 ではあるまい、自分はまだ〳〵朝鮮の他の地方に浮出のラヂウム鑛泉があることゝ思ふ。

獨立門外の ラヂユーム泉

二十九日午後…

●映鏡（レンズ）の前に立つた妓生（キーサン）たち

ミネット氏一行の京城市中の撮影

懐しい朝鮮の風光を全米七千の小學校の生徒諸君の前に

ボストンに本社を置き世界各國に大小二十萬餘の支店を有するニューイングランド、モシンピックチャー會社にては今回米國の各階級社會に日本の事情を紹介する目的を以て

▼日本協會と協議 の上過般來內地の風俗慣習勝地等二萬七千尺ばかりのフイルムに撮影し更に日本の新領土朝鮮が如何なる狀態にあるかを廣く紹介する爲め去三日前より入京朝鮮ホテルに投宿し城內及び近郊の撮影に適當なる場所の選定中であつたが二十九日ホテル後庭の圜丘壇前に於て妓生の舞曲を撮影する事となつた、一行は總支配人及び支配人チーピーミネット氏美術家技師ダブリエッチ、ライアン氏通譯富永氏其他五六人である釜山上陸後釜山魚市場の朝市の盛況及び大廳町通の

▼內鮮人が融和し て商業を營み居る狀況及び龍頭山龍尾山上より市街を瞰下したるパノラマ等にして五百尺ばかりを撮影し二十九日は午後一時より廣橋組合の朴彩姬、金玉娘、趙花香の三妓の舞を撮影した朝鮮建築の粹を凝らしたる圜丘壇を背景とし五六名の樂人は石段に踞して鼓を鳴し笙、橫笛等を吹き先づ朴彩姬羅の袖を翻へして優雅なる僧舞を舞ひ次に金玉娘と趙花香と鴻門會の劍舞を舞ふダブリユッ、エイッチ氏は五六米突を隔て、撮影機を据

▼僧舞を二分間に て百八十呎劍舞を一分四十秒ばかりにて百四十呎を撮影したりそれより一同は南大門通りに出で下水工事中の朝鮮人の勞働狀況を寫しそれより鍾路本町、南大門市場等の撮影を爲した京城の豫定撮影は約二千呎でこの外に郊外を一箇所寫して今回は一と先づ引揚ぐる筈だ今回携帶した機械はフイルム四百呎入りにして世界有數の最新完全なる機械との事でフイルムは橫濱に於て現象し

▼直に米國に送り 全米七千の小學生徒に觀覽せしむる筈であると最も同會社は主として敎育方面のもの、撮影に重きを置いてゐる

フイルムに入る 妓生たち ―圜丘壇にて―

汽船衝突 同船で二日間に

二回の衝突は前代未聞

二十九日正午乾合名會社汽船太孤山丸（三三二六噸）は東京田中汽船會社長久丸（九三二噸）と香川縣與島沖合に於て衝突し長久丸は沈沒し八名の行方不明者を生じたるが大孤山丸は其の前日も關門海峽に於て關西丸と衝突し同船を沈沒せしめたり僅々二日間に於て二回の衝突は前代未聞なりと（大阪特電）

◎二千人の乞食

▼何うして處分するか

本年七月末現在の調査に依れば京畿道全體に於ける乞丐二千七百四十一人浮浪者七百八十七人なるが更に同月末現在本町鍾路兩警察署の調査せる所を聞くに鍾路署管內にありては乞丐朝鮮人及び外國人等合せて一千八百三十人ありこの內原籍地に歸還せしめたるもの九百十九人正業に就かしめたるもの十八人親戚故舊に引渡したるもの八人救護團等に引渡したるもの十人其他はそれ〳〵處分中なり又本町警察署管內に在りては乞丐朝鮮人及び外國人合して總數三十五人ありこの內原籍地に歸還せしめたるもの二人正業に就かしめたるもの七人其他十八人にして現在數八人あり而して浮浪者は內地人のみにして五十人あり內正業に就かしめたるもの二十八人處罰せしもの五十人にして現在數は十九人なりと

◎不知火研究著手

千古の秘密たる有明海の不知火研究は福岡縣並に佐賀及び長崎聯合の下に京都帝大本大學教授理學博士松下禎二氏東北大學助教授理學士藤吉三郞氏其他前記各縣の水產試驗場及び測候所技師等會同去る廿八日夜より著手せり

◎盆栽大會開催

京龍有志者の發起に係る盆栽大會は八月卅一日の大長節を期し東拓裏の清香園にて第二回を開催し同時に朝顏大會をも開催す可しと

◆「女鳰」劇の梗概

今夜五時から壽座に於て

卅日から和合俱樂部一行によりて壽座に上場さるる本紙連載小說『女鳰』の梗概を記してみよう

▽主獵官 の職を辱じ然も巨萬の財產を有する子爵大河野藤俊といふ華族があつた、いたく狩獵を好んで或る冬の事、娘の鳩子といふ女作び從者の大野勝助が自分の故鄕で地理に明るいのを幸ひに山形市の近在に遊獵の肝煎をなさしむべく勝助及び子爵の家扶に出來て居子になつてゐる秀子の叔父の生駒吉十郞の二人を引連れて出かける、此の狩獵こそ子爵家を亂ふ惡人共の乘ずべき好機會であつたのだ。此の生駒といふのが子爵の出發で留守を預んで居りながら自分の妹で以前女傭をしてゐる時分子爵と關係した婢子（秀子の生母）と謀し合せ大河野家の嫡子で相續人たる

▽鳩子を 亡き者にして秀子をして大子爵家を相續せしめようと企て生駒は自分の所に使つてゐる無頼漢の伊藤源太郞に旨を含めて自分達の一行を尾行させる子爵の一行が目的地に着いて旗狩の名人ロである伊藤源作を呼び寄せ打合せした上旅館に寢んでゐると前阻の源太が鳩子を刺すべく忍び込む、その時折惡しく源作が眼を覺して曲者ッとばかり取組合を始めたが捕まへて見ると數年前に國元で散々惡事を働いて出奔した我子の源太であるのに仰天する所を源太は短銃を放つて逃げる、その後二三度鳩子を狙つたが何時も失敗に終る、その間に源作とその娘の

▽お花の 密々話しによつて鳩子を刷ふ者は生駒に雇まれた源太であるを詮男が知る、そしてそれとなく鳩子に知らすと天使の樣に淸く無邪氣な鳩子は自分は決して他人に怨みを受ける樣なものでは無いが、どうしても自分の命が入用であれば、差出してもいゝといふ、その內に鳩子は又しても源太に襲ばれ既に危ない所を源作とその愛犬の太郞のために助けられ詮男も出て來て今度弱に掩けてゆく曲者の源太を發砲で打つて了はうといふのを鳩子が源作やお花に可愛さうだから助けてやれと諫する、其處へ子爵も此の騒動を聞きつけて出て來たが鳩子が何も言ふなさ

▽詮男に いふので其の場を旨く纏めてしまう、それでも一行は吹雪を冒して吾妻山に出掛ける、殺獵に出た一行が悲んな事を繰返してゐるうちに東京の本邸の方では鳩子と全然異つた性格を有つて虛榮の權化ともいふべき秀子は子爵の留守を幸ひにヤレ假裝會、ソレ活動寫眞と騒ぎ廻るのを大河野家譜代の奥女中住江が意見するために秀子とは事每に衝突する其の內に秀子とは生みの母であり乍ら表向きの資格を渡つてる母親から一度もその成長振りを見た事が無い詳が附く

▽秀子を 誘き出して九段坂の大村銅像で惡巧みを敎へる、そして秀子が眞の父と思つてる子爵は實父では無くて一時の急場逃れに無理に押しつけたものだなぞと言び聞かせるので子爵に對する秀子の愛は之れで全く消ねてしまう、それが悲んで邪を捨てた子爵に對する復讐心と變じ鳩子から聞いた大河野家乘取の密事も忽ち同意してしまう、此の奮奮な人知れず跡を尾けて來た住江に盗で聞かれたとは知らずに鳩子は別れる、その後假裝舍を催うして雛子を子爵家へ引入れそのドサクサ紛れに又鳩子を暗殺

▽密計を 告げ秀子の實父だといふ某西洋人の寫眞が見せるのを住江に見られ然かも油斷してゐる際に子爵の寫眞と西洋人の寫眞とを搔替にられてしまう、それを後から住江の所爲であると聞付いた母子が如何なる策を廻らすか、住江が母子の惡事の裏をどうして搔くか之れが今日まで小說に現れた梗概である。

女鳰劇の舞臺稽古 廿九日夜壽座にて

…元山 斗南里に滯在避暑中なりし外人宣敎師連は風光の絕佳なると潮水の淸らかなると…何れも滿足しつゝありしが昨今に至…

（甘味好み）

京城新檢番中長 智惠子

甘味を好まる老若男女如何なるお方にも向き、渇きを止め、消化を助け胃を丈夫にし、齒が白く綺麗になり、多くの人の惱む口中のクサミは右から左にとれ、涼しい上品なその香りは、意外に永く保つのであります。論より證據、何卒お試めしの程を願ひ上げます。

□甘味好みのスピヤミント
□薄荷好みのダブルミント
□一包……（短册形五枚入）……金十錢
□煙草、菓子、賣藥、洋酒、食料品店等にあり

發賣元 東京 リグレー會社

代理店 京城本町一丁目 塚谷出張店 電話一三六番

京城本町二丁目 吉尾商店

同四丁目 電話一六八六番 門田朝鮮堂

同一丁目 電話二三四三番 本城屋

渡邊默禪

「九〇」にらい！

焚火をするにも燃料がなかつた。で、是非なく藁を敷いて、犬の太郎を抱いて、その温味をかりて寒さを凌いだ。かくして灯もない暗黒の坑に坐つたまゝ、數時間を過さねばならなかつた彼の苦痛は、手術などの想像だも及ばざる悲慘な經驗だつた。

そのうちに追々風の勢ひが衰へて雪も疎らになつたので、さらばとばかり勇氣を鼓して洞を出た。出る時に皆なが嘸饑じい思をしてゐるだらうと察したので、携帶してゐた麻の袋に詰込まれるだけの米を盛つて、それから味噌を五郎櫃（方言である。面桶に似寄つた辨當箱）に一杯うつしてから、昆布と干葉とをハキゴ（やはり方言、藺草か藁か蔓かで編んだバスケット型の籠だと想へば間違がない）に入れて、米袋と一緒にそれを背負つた。

何處に小屋を建てたか、その位置は勿論分る筈はなかつた。けれど何でも出谷川の岸近く、熊の棲む大絶壁を前にとつて露營を張つたに違ひない。この溪川を傳はつて何處までも行つたら、必とその小屋を發見されると彼は思つた。で、左右から迫るやうに迫り合つた懸崖の根について、擂鉢の底のやうな低い谷間を遶り〳〵前進した。七八町も來た頃には、もう全然雪が霽れて、忙しく飛ぶ斷雲の隙から、玄冲の片破月が凄い女のやうな凄い顔を見せてゐた。

が、何處まで行つても小舍らしい物が見當らなかつた。彼は行き惱んで小高い溪の上に登つた。そして試しにおーい〳〵と呼んで見た。けれども返辭がなかつた。絶望したこの刹那の彼は、殆んど地獄の闇のなかにさまよつてゐるやうな氣がした。魂よ〳〵聲！小舍にゐた人々の襟首にぞつと惡寒を立たせたのは、その聲であつた。

迷つた目にふと入つたのが、遙い山峽にちらつく螢のやうな灯影であつた。彼は雀躍した、もう半は夢心地になつて雪を踏分け〳〵進んだ。目標は違はなかつた。果して小屋の火であつた。稍とのことで辿り着いたものゝ、寐てゐるのを愁かすも氣の毒、成らうことなら子爵や大野にだけ歸つたことを知らせて、皆なには明朝になつてから、と義理堅い彼は然う思つて、しばらく小屋の前を往つたり來たり、子爵の居所を搜してゐたのであつた。

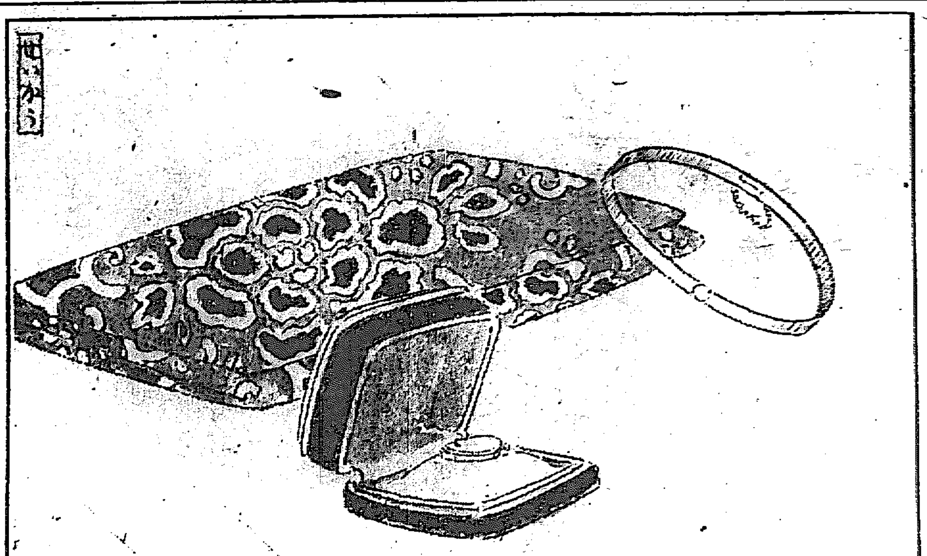
此の事實は、本人に代つて大野が精しく語つて聞かせた。一同は無難に死地を切拔けて來て、この悅ばしい福音を齎らした彼の努力と勇氣とに對しては最う口も聞けないほどに心から心がひとしく感謝に充たされた。「わらい、わらい」といふ讃美の聲は、漸く隅から隅にくりかへされた。

大鍋に甘さうな湯氣を立たせて、飢ゑ切つた二十餘人の食慾をそゝつたのは、お土産の玄米をざつと磨いで、それに味噌と昆布と干葉とを叩つ込んだ雜炊だつた。程なく出來上る有りたけの五郎櫃や木の椀とがそこに持出されて、公平に三杯づゝ分配された。子爵や鳩子でさへ此の怪しげな御馳走に舌鼓を打つたほどであるから、他の者の胃の腑にどれだけの滿足を與へたか知れなかつた。

かくして山中の第一夜は明けた。翌朝はみんなで洞穴から米と食料とをはこんだ。いよ〳〵熊を狩出すき手際であつた。

×　×　×

東京の大河野家にそれから間もなく一つの悶着が起つた。秀子が確かに化粧臺の抽斗に仕舞つて置いたといふ腕輪と、ダイヤの指輪、七十圓入れの財布が、秀子の風呂に入つてゐる僅の間に紛失した。それが原因であつた。



獨逸は勝てるか
カイゼルは尚ほ樂觀するか

獨種米人のニツペルトと云ふ男は東普魯西救濟委員會の副會長として本國に歸つた、カイゼルは喜んで彼を引見し陪食さへも許した、此の男の語る所に據るとカイゼルは日に燒けて印度人の如く色黑く見るからに壯健で神經は餘程緊張して居るやうであるが戰局の前途に對して

▲毫も悲觀せる模樣なく　飽くまで最後の勝利を信じて居るさうである之は先々月下旬のことである。獨逸人としては無理もない話であるが彼等は聯合國の攻勢を侮ら解して居る即ち獨軍は佛白露に廣大なる土地を占領し塞爾維、黑山國は地圖から掻き消され又土耳府からバグダツトまで獨逸の劍で切拓かれた、此現在の戰爭地圖に依り事實を基礎として

▲講和を強られたら困る　から少しでも土地を取戾さうと云ふのが聯合國の空頼みであると、彼等が何處までも獨軍最後の勝利を信ずることはカイゼルと同じである、之れには二つの理由がある一は獨逸陸軍に對する絶對的信賴で一は東方に道を開いたことである、獨軍はどうしても打ち勝ち難きものであるが英艦隊封鎖の結果として

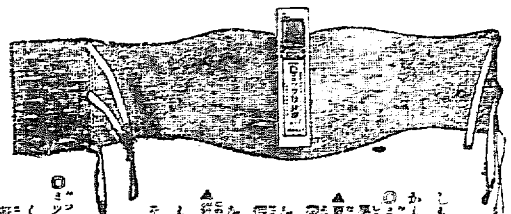
▲饑餓と窮乏に苦しめられては戰ふことが出來ぬ、然るに東方にダニユーブを以て通ずる路が出來たから英國の封鎖を或點まで無効ならしめた殊に勝利の曙光が見えて來たと自惚れて居るのである、此の勝利の信念を維持するために獨の參謀本部は自軍の敗報を公にせず敵軍の勝報は獨逸國民の自信を動搖せしむる爲めの策略であると國民に注意して居るが

▲諸新聞は戰局の現狀の眞相を明らさまに或は暗に承認しきことを認め一戰線に在て擧國一致の必要を說き一難に此すれば獨逸は遙に忍び易い鐵石の意志を以て軍隊と共に死する覺悟を持たねばならぬと云つて居る今や戰況は到る所不利で占領地は次第に狹められ東方に通ずる道は巴爾幹聯軍と小亞細亞の爲めに塞がれかけて居るではないか若し

▲此の異常な獨逸國民に知れたら信念の動搖が起らずには居らぬ獨逸滅亡史の悲慘なる最後の一ページが書かれるかも知れぬカイゼルは今尙ほ夢へて居るやうに内から崩壞して戰局の前途を樂觀して居るかどうか

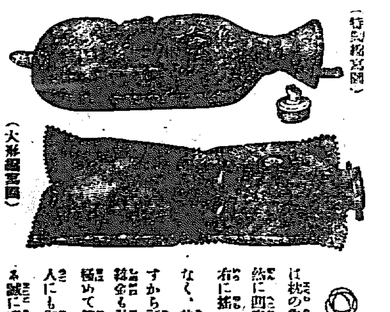
▲今回沙里院小學校の建築工事入札施行に際し談合運動盛んなり知るや知らずや（雛先生）▲沙里院の某請負業者は建築工事請負につき世話人間に於て意見衝突より大激論あり續て人身攻擊に及びたりとの噂次郎の多きには實に五月蠅所に候（一料理屋）▲近來黃海道沿線方面には石油鑛を發見したるとか何とか云ひ又は拇寸の軸木を水に浸し火を付けば黑煙を發し直ちに燃ゆるとか瓦斯出で其れに火を付ければ燃ゆるとか云ひ一味を組みて種々なる口實により發見料とか何とかを請求せんとする惡策を回らさんとする者あるやも知れず充分なる注意肝要〳〵只現場を視察したるものは無根に一驚するの外なしとやら（無從火賓見生）▲各方面にありて女敎師を養成しつゝある會社は支部長なり監督なりの位を笠にきて部下の女敎師を辱しめ月給の上下まで關係し又敎授ブリニやかま敷或る時は會社の命令と申して同道田舍旅行同宿位は珍らしからず私も其の一人にて親なり姉なる者は家事の都合で斷させたものゝあたら取りかへしつかぬ事になり今更乍ら深く後悔して居る次第です會社の責任を持つ人よ嚴重に取締つて下さい（一少女）

薄く品柔軟で少も邪魔にならず　而して完全に防汗が出來る
ゴム入、メリヤス製　日本ラバ商會謹製
◎ミツワ防汗帶
定價　大形　金一圓　小形　金八十錢



◎ミツワ防汗帶は、ゴムを中心として、特製の薄きメリヤスを以て、圖の如く作りたるものなるが故に、從來用ひ來りし、ヘチマの類にて作りたるもの又は著て窮屈なる薄き布一重を隔つるのみなれば、蒸張り、強張り、窮屈等の感じ少しもなく、夏季の淸凉を召して、帶を締めらるゝに際しも隱蔽にならず、著用に至つて便利なり。
◎ミツワ防汗帶を、腰部の間に著ずれば、如何なる大暑の季節にても、決して汗の滲み出る憂ひなし。
▲夏季は自身に、それほどとも、思はぬのにミツワ防汗帶を一度用ふれば、防汗帶の内面に、滴るばかりの汗を含み居て、この汗が着物や帶に浸むかと思へば、假令すこし位の手間にても、必ず當からミツワ防汗帶を用ふるに至るべし。
▲汗疹あせもの類多あれども、ヘチマにて作りたるもの又は糸にて、而かも帶を締むる際窮屈となり、防汗の目的にて製したるものは、多く強張り、又は窮屈に失して、汗あせよけを嫌ふ爲に、却つて暑さを增し汗多く出る、普通のあせよけの缺點は、誰人も皆知る處なり。
◎ミツワ防汗帶は、薄く、柔軟にて防汗帶を締ふ感じなく、帷子、絽、明石等の薄物の帶召物にも、少しも障礙にならず、汗は悉く防汗帶の内側に含み、決して表へ滲み出る事なし。
◎ミツワ防汗帶は、幾數十回にても洗濯して使用する事を得、之を洗濯するには毎夜、淸水にてふり出し、竿にかけ置けば翌日の使用に差支へなし、また三四日毎に温きブラシにミツワ石鹼をつけて板の上にて靜かに擦でゝ泡立せ、淸水にてふり出し陰干にすべし、但し洗ふ時に揉み又は日向に干さぬやうにすべし。
新案特許　純護謨製　大阪　宗田商店謹製

◎ミツワ水枕　みつわ・みづまくら
凡ての家庭には必ず二個の水枕を備へざる可らず
定價　大形壹圓廿錢　中形壹圓　小形八十五錢　特製參圓



（特製網寫圖）（大形網寫圖）

◎ミツワ水枕
は枕の内に割壁を設け中へ氷水を入ると自然に凹字形になるやうに製してありますから、頭を載せてもチヤプチヤプしたりすることなく、其れに兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。特に又、多年苦心の結果漸く案出したる極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
ミツワ椿油　發賣元
肝油ドロップス
御園化粧品
東京市日本橋區橘町四丁目　卸問屋　石鹼、香料品、小間物問屋
○丸見屋商店
電信略號（○ミヤ）
振替貯金口座東京七一〇番
賣捌＝全國到る處のミツワ石鹼販賣店若し最寄に取次店がなければ木舖へ直接注文あれ、郵便小爲替か振替口座にて送金あれば（内地は送料不要）郵送す、代金引換小包郵便にても宜し。東京市内は假令一個にても配達す。（市内御専用電話浪花四五〇番）

京日案内

▼申込後中途にて取消の際は返金致さず
普通一行（二十五字詰）一回前金一圓以上……五遍以上割引

普通
二連獵銃　英國ボーキヒ製十二番有鷄頭　但し安價にて讓りたし　姓名在社　144
●外務員募集　京城旭町一ノ一二八　愛國生命保險會社出張所　145
（委細面談）
●小僧入用　年十六七歲前後市内に確なる保證人を要す本人來談あれ　太平通二丁目　遠藤味噌醤油店　137
▼習字帳と▼書翰文色々著荷　本町二●電一五一七●ツヽボヤ書店　75
▼朝鮮各道別全圖　一冊一道各十錢　京城本町　ツヽボヤ書店　75
●金融　官公署會社に在勤の方へ信用貸金す勤務所名月收額明記の上御申込あれ　何日上候　花園町八七　大和屋　140
●店員入用　保證人を要す　京城　十五歲　131
●店員及女中入用　經驗者にて二十五歲以下の者　南大門驛前松原運送店　130
●古本持參の上御來談あれ
●是非御試し下さい　電話二七八一番
●高價買入　△御報參上　△本町四　△書肆群書堂　111
▼開易觀相……見料隨意……故みに評せらる必ず中る法蟬てなし　永樂町一ノ九　商品陳列館通坂中途　均陵庵　123
習字（目錄送呈）御手本類は何でも有ります　72
東京市九段下電車通り　精華堂法帖店
●松汀里光州間自働車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す　▲光州　加藤自働車運輸部

番外
▲恩給年金　退隱料　▲低利直立替
▲極秘長期融通　商品陳列館表門前　▲京城永樂町壹丁目　江州屋本店　139
●湯屋讓る　七町目二丁目釘本商店四番に御問合せあれ　湯屋の儘にて讓り渡したし詳細は本町二丁目釘本商店電話四五二七番に御聞き合せあれ　138
配達夫入用　但し年齡二十歲以上三十五歲迄にして自轉車に經驗有者は上市内に要保證人京城西大門外牛乳東洋牧場電話九三六番　151
恩給年金立替　一利月歩　並に諸公債株券取引　櫻井町大正館向　博多屋本店　142
社員採用三名　但二十五歲以上確實なる要保證人希望者は午後一時半より二時半迄に申出あれ　黃金町二丁目シンガー會社京城支店　143
代診生雇はれたし　年三十一身元確實履歷送ります採用の上は旅費一切自辨（姓名在社）　132
雲母及マンガン鑛石輸出御希望の方に御面會致度候　鍾路ロンドン商會内　吉岡　136
石油發動機　八馬力、獨逸製、火式、糎摺機十臺分、アイデル、精米機、一ケ年間使用現在使用の儘摩擦機二臺京城春川間毎日午前八時出發　用法簡易至急安價譲渡したし姓名在社　126
●京城春川間自働車　賃金片道四圓　南大門通一丁目　主務　廣橋自働車　電話二一九番　金正淵　592組
セトモノを買なら　二錢より十錢迄なんでも揃ます　本町二丁目㊤賣場　712
鑛物分拆　鑛山測量　京城鍾路二ノ九九　金石商會　電話一八九九　夫れ專任技師に依り正確迅速　559

京城櫻井町二丁目　筑紫醫院　大正館南半丁　內科　小兒科　婦人科　花柳科　387
京城春川間合乘自働車　賃金片道四圓　京城發前七時半　春川發前七時半　京城水標橋通り　支配人　松田壽男　電話武壹參八番　京春自働車商會　82
吉野町　松岡醫院　院主　松岡繁太郎　內科　小兒科　外科　花柳病　入院隨意（吉野町自働電話の上）98

◎秋蒔種子新荷著
美濃早生大根　一升に付九十錢
練馬大根　同　八十錢
宮重大根　同　八十錢
聖護院大根　同　九十錢
方領大根　同　八十錢
聖護院蕪　同　八十錢
近江蕪　同　八十錢
天王寺蕪　同　八十錢
千筋京菜　同　八十錢
壬生菜　同　八十錢
朝鮮白菜　同　八十錢
開城白菜　同　一圓五十錢
芝罘白菜　同　二圓廿錢
其他いろ〳〵　一合に付五十錢
營業案内御申越次第進呈
京城旭町二丁目　三輪種苗店

模範　牛乳
純粹　ヨーグルト
場主獸醫　肥塚正太
京城西四軒町　東亞牧場（電話五一二番）

金泉醴泉間自動車時間　上り一番　二番　下り一番　二番
金泉醴泉間自動車　金泉織居　自動車支部　小荷物運搬仕り候　金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車部　大邱出張所　電話一一七番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　日後十時出帆
○立神丸　月
○元山、城津、浦潮行　日後十時出帆
○小倉丸　月
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　日後六時出帆
○第三琴平丸　月
○門司、宇品、神戶、大阪行　日後六時出帆
○第三琴平丸　月
住須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天莫丸　每月一日九日十四日廿一日廿六日（午後十時出帆）
釜山港仕立新町　大池回漕部　本船取扱店

阿波共同汽船仁川出帆
第二共同丸　芝罘、大連行　八月三十日後二時入　九月二日前十一時出
關東都督府命令航路　朝鮮鐵道主要驛に於て阿波共同汽船貨物取扱仕候
大連にて滿鐵及び安奉直通各線連絡
第一阪鶴丸　城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）　月　日後九時出
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第二共同丸　元山出帆　月　日前八時出
仁川代理店　本町一丁目（電話一〇八番）　阿波國共同汽船株式會社
元山代理店　本町（電話二四四七番）　山下回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八・一〇一七）　田口回漕部　河村運送店

大阪商船仁川出帆
外國航路及航路連絡航海船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行
須磨丸　八月　日後五時出
安東丸　九月四日
天智丸　八月廿九日
×鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
○漳州丸　九月十日正午出
○×木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
信濃川丸　八月十四日後二時出
×○信濃川丸　九月十四日
須磨丸　八月　日後二時出
○木浦、釜山、門司、神戶、大阪行
×鎭南浦、大連行
○信濃川丸　九月廿七日
×南浦、關門、神戶、大阪行
◉大智丸　八月三十日正午出
○大連直行
△日米丸　八月　日正午出帆
○群山、釜山、横濱行
×福州丸　月　日後二時出
○淸津、浦潮行（元山出帆）
▲八城津、西湖津、三寄港、浦潮不寄港
▲安平丸　九月十六日後二時出
▲宮島丸　九月二日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
城津丸　九月　日後四時出
湖北丸　九月十二日前六時出
御注意　朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との連帶切符發賣仕候
各御前一時間前無貨物受付可致　×印は本船に於て一等
切符發賣所　京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
京城切符發賣所　中央四國運送合資會社

朝鮮郵船出帆
本社　電話長一九五二番
京城驛前松原運送店
○全羅丸　八月三十日　釜山發
○京畿丸　九月九日
○黃海丸　八月
○成鏡丸　九月三日
○咸鏡丸　九月四日　元山發
○昌平丸　八月廿九日
○平城丸　九月
○永興丸　每月廿八日　元山發
○盈德丸　九月一日　釜山發
○江陵丸　每日　釜山發
○三浦丸　八月廿九日　釜山發
○慶興丸　三日　每二　木浦發
○慶興丸　八月廿九日　木浦發
○公州丸　九月三日　木浦發
○宗信丸　八月廿九日　仁川發
○江原丸　九月五日　仁川發
○順天丸　木浦發
○慶州丸　九月一日

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸　九月七日後四時出帆
○大有丸　九月十二日後四時出帆
○神代丸　八月卅一日後四時出帆
○秀吉丸　九月十一日後四時出帆
仁川港通一丁目　電話五十九番　高杉回漕店

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸　九月七日正午出帆
高砂丸　九月十七日正午出帆
三河丸　九月廿八日正午出帆
仁川港町一丁目　電話十一番　堀回漕店